

12 ディファレンシャル

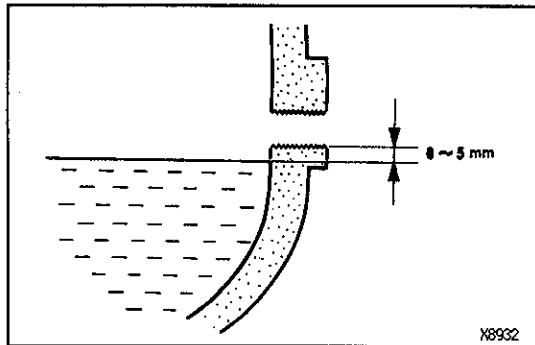
基本点検	12 - 2
準備品	12 - 2
基本点検	12 - 2
ディファレンシャルオイル	12 - 2
ドライブピニオンオイルシール	12 - 3
準備品	12 - 3
ドライブピニオンオイルシール	12 - 5
脱着構成図	12 - 5
ドライブピニオンオイルシール取りはずし	12 - 6
ドライブピニオンオイルシール取り付け	12 - 7
サイドギヤシャフト	
オイルシール	12 - 10
準備品	12 - 10
サイドギヤシャフトオイルシール	12 - 11
脱着構成図	12 - 11
サイドギヤシャフトオイルシール取りはずし	12 - 12
サイドギヤシャフトオイルシール取り付け	12 - 13
セレーションボルト交換	
(4S-FE, 1G-FE, 2L-TE 搭載車)	12 - 15
ディファレンシャル	
キャリヤ ASSY	12 - 17
準備品	12 - 17
ディファレンシャルキャリヤ ASSY	12 - 21
脱着構成図	12 - 21
分解構成図	12 - 22
断面図	12 - 25
ディファレンシャルキャリヤ ASSY 取りはずし	12 - 27
ディファレンシャルキャリヤ ASSY 分解前点検	12 - 28
ディファレンシャルキャリヤ ASSY 分解	12 - 30
ディファレンシャル構成部品の点検および調整	12 - 36
ディファレンシャルキャリヤ ASSY 組み付け	12 - 41
ディファレンシャルキャリヤ ASSY 取り付け	12 - 56
ディファレンシャルマウント	
クッション	12 - 58
準備品	12 - 58
ディファレンシャルマウントクッション	12 - 59
ディファレンシャルマウントクッション	
取りはずし	12 - 59
ディファレンシャルマウントクッション取り付け	12 - 59

基本点検

準備品

油脂・その他

キヤッスル・ハイポイドギヤオイル SX	ディファレンシャル注入用
キヤッスル・ハイポイドギヤオイル LSD	ディファレンシャル (2 ピニオン LSD) 注入用



基本点検

T0018550

ディファレンシャルオイル

1 オイル量点検

注意 ・オイル過多, 過小はトラブルの原因になる。

・車両を平坦路に停止させる。

- (1) フィラープラグをはずす。
- (2) フィラープラグ穴下端から 0~5 mm 以内にオイルがあることを確認する。

注意 オイル交換時は, 走行後オイル量を再確認する。



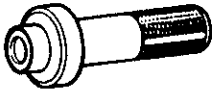
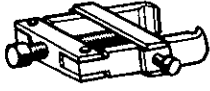
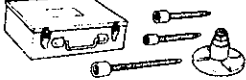
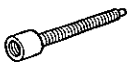

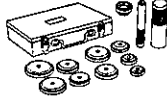


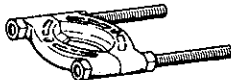
- (3) オイル量の少ない時, オイル漏れを点検する。

	使用オイル量	使用オイル
7.5 インチ	1.0 ℓ	キヤッスル・ ハイポイドギヤオイル SX
8 インチ	1.2 ℓ	キヤッスル・ ハイポイドギヤオイル SX
8 インチ トルセン LSD	1.2 ℓ	キヤッスル・ ハイポイドギヤオイル SX
7.5 インチ 2 ピニオン LSD	1.0 ℓ	キヤッスル・ ハイポイドギヤオイル LSD

ドライブピニオンオイルシール

準備品

S S T

	09308-10010	オイルシールブラー	ドライブピニオンオイルシール取りはずし用
	09330-00021	コンパニオンフランジ ホールディングツール	コンパニオンフランジ保持用
	09554-30011	ディファレンシャルオイルシール リプレサー	ドライブピニオンオイルシール取り付け用
	09556-22010	ドライブピニオンフロント ベアリングリムーバー	テーパードロローベアリング(フロントベアリング)取りはずし用
	09557-22022	コンパニオンフランジリムーバー アンド リプレサー	コンパニオンフランジ脱着用
	(09557-22030)	ボルトNo.1	コンパニオンフランジ脱着用 (7.5 インチ)
	(09557-22050)	ボルトNo.3	コンパニオンフランジ脱着用 (8 インチ)
	09608-35014	アクスルハブ アンド ドライブ ピニオンベアリングツールセット	
	(09608-06020)	ハンドル	ドライブピニオンダストデフレクター取りはずし用
	(09608-06090)	フロントハブアウター アンド ステアリングウォーム ベアリングリプレサー	ドライブピニオンダストデフレクター取りはずし用
	09950-00020	ベアリングリムーバー	ドライブピニオンダストデフレクター取りはずし用

工 具

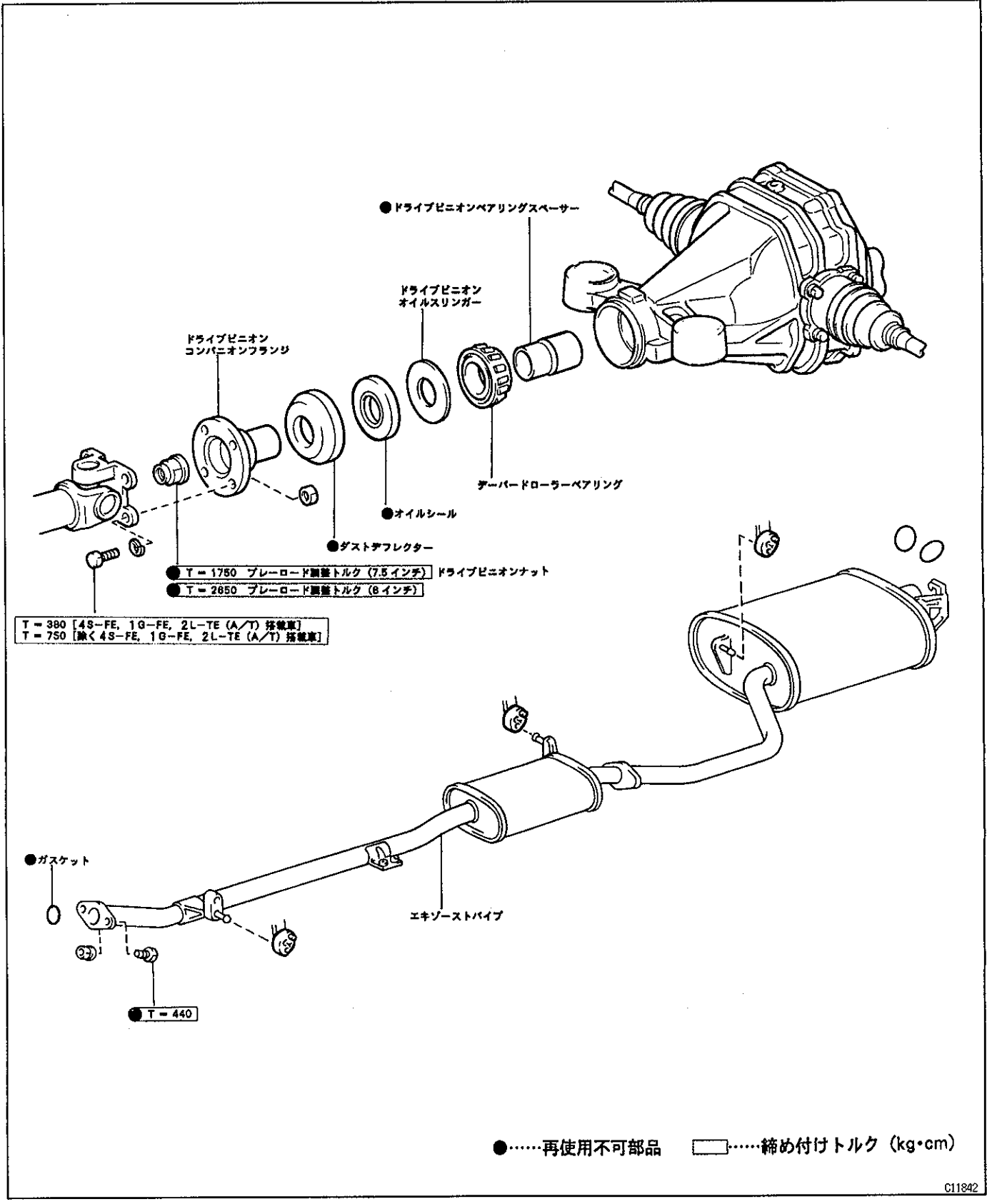
ソケットレンチ (30mm) 09011-12301	ドライブピニオンナット脱着用
タガネ	ドライブピニオンナットかしめ用

12

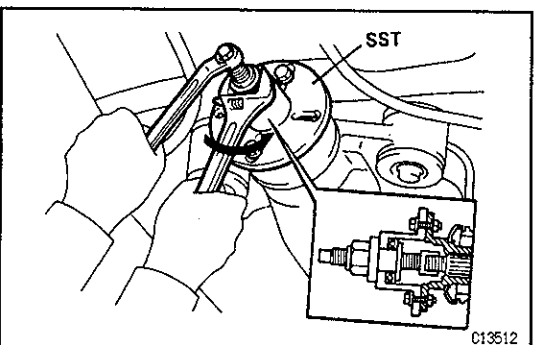
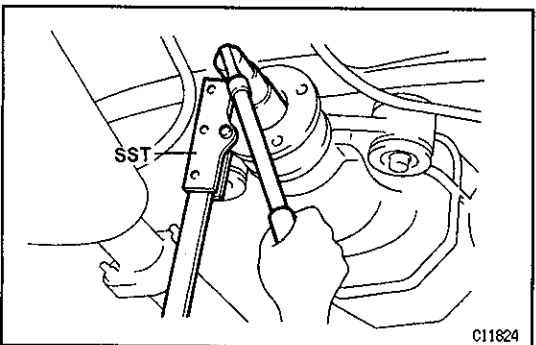
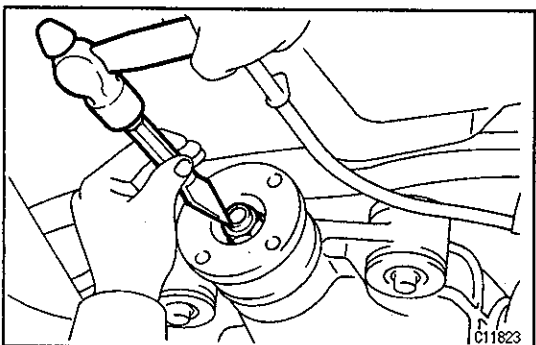
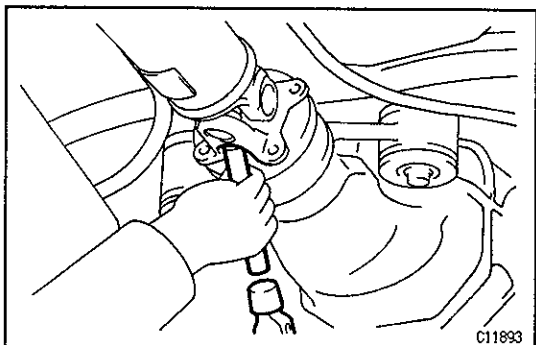
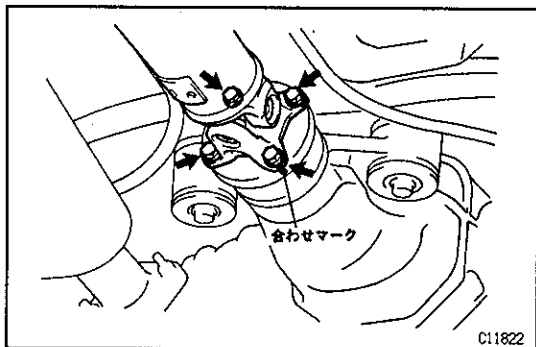
トルクレンチ (0~30kg·cm)	プレロード測定用
トルクレンチ (700~4200kg·cm)	ドライブピニオンナット締め付け用
油脂・その他	
キヤッスル・MP グリースNo.2	オイルシールリップ部塗布用
キヤッスル・ハイポイドギヤオイル SX	ディファレンシャル注入用
キヤッスル・ハイポイドギヤオイル LSD	ディファレンシャル (2ピニオン LSD) 注入 用およびドライブピニオン塗布用

ドライブピニオンオイルシール

脱着構成図



12



ドライブピニオンオイルシール取りはずし

1 エキゾーストパイプ取りはずし

2 プロペラシャフト切り離し

- (1) プロペラシャフトのフランジヨークとコンパニオンフランジに合わせマークを付ける。
- (2) ボルトおよびナット各4個をはずし、プロペラシャフトを切り離す。

注意 コンポジットプロペラシャフトは次の点に注意して作業を行う。

- ① チューブ（樹脂部）をたたかない。
- ② チューブ（樹脂部）にキズを付けない。
- ③ 他の部品に当てたり、落下させない。

（『プロペラシャフト』－「プロペラシャフト」－「注意事項」）

〈参考〉 フランジの結合が固い場合は、プラスチックとハンマーを使用して、プロペラシャフトの図の位置を軽く均等にたたいて切り離す。

- (3) プロペラシャフトのジョイント部に無理な力が加わらないようにプロペラシャフトを吊り下げる。

3 コンパニオンフランジ取りはずし

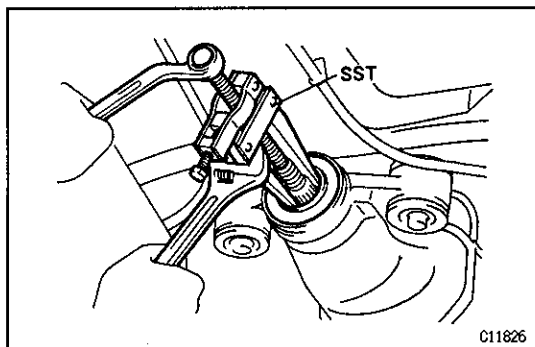
- (1) タガネを使用して、ナットのかしめを解く。

- (2) SST を使用して、フランジを固定し、ソケットレンチ（30mm）を使用してナットを取りはずす。

S S T 09330-00021

- (3) SST を使用して、コンパニオンフランジを取りはずす。

S S T 09557-22022 09557-22030 (7.5 インチ)
09557-22022 09557-22050 (8 インチ)

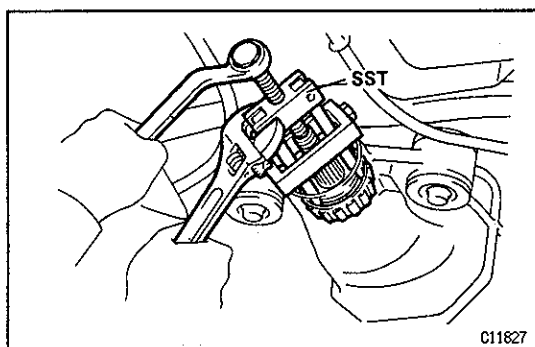


4 オイルシール取りはずし

(1) SSTを使用して、オイルシールを取りはずす。

S S T 09308-10010

5 ドライブピニオンオイルスリンガー取りはずし

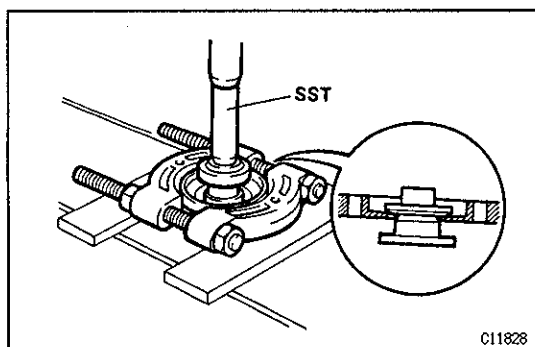


6 テーパーローラーインナーベアリング(フロントベアリング)取りはずし

(1) SSTを使用して、テーパーローラーインナーベアリングを取りはずす。

S S T 09556-22010

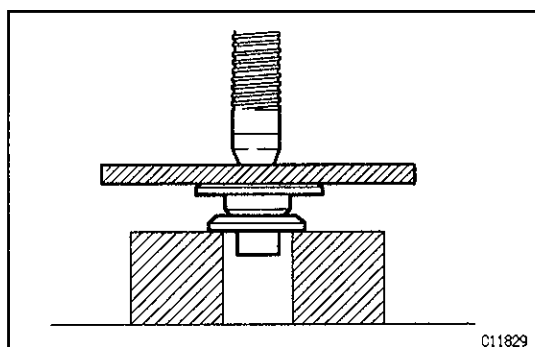
7 ドライブピニオンベアリングスペーサー取りはずし



8 ドライブピニオンダストデフレクター交換

(1) SSTおよびプレスを使用して、ドライブピニオンダストデフレクターを取りはずす。

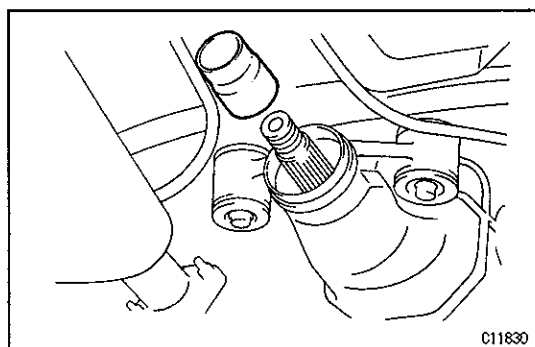
S S T 09608-06020 09608-06090 09950-00020



(2) プレスを使用して、新品のダストデフレクターを圧入する。

- 注意**
- ・圧入時は、ダストデフレクターを確認しながら、少しずつゆっくりと行い、圧入し過ぎない。
 - ・圧入時にバリが発生した場合は取り除く。

12



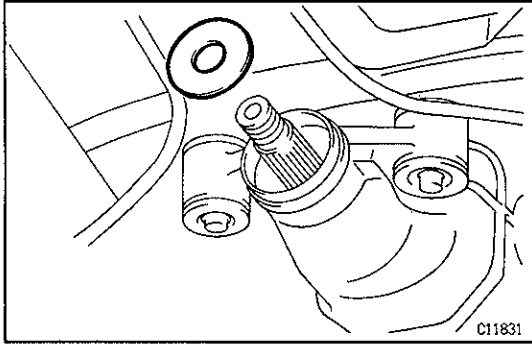
ドライブピニオンオイルシール取り付け

1 ドライブピニオンベアリングスペーサー取り付け

(1) ドライブピニオンに新品のスペーサーを取り付ける。

注意 内径の大きい方をリヤ側に向ける。

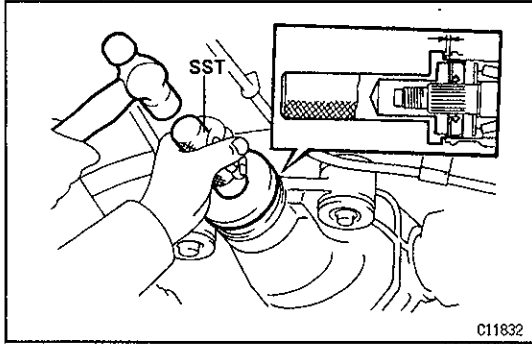
2 テーパーローラーインナーベアリング(フロントベアリング)取り付け



3 ドライブピニオンオイルスリンガー取り付け

- (1) ドライブピニオンにドライブピニオンオイルスリンガーを取り付ける。

(参考) 方向性はない。



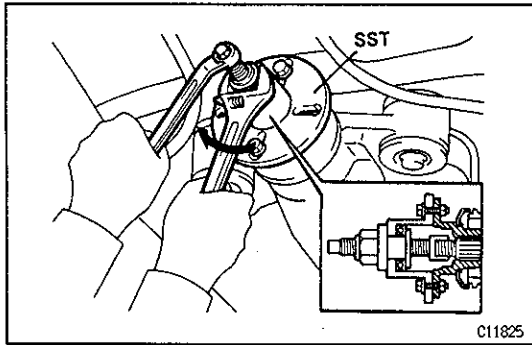
4 オイルシール取り付け

- (1) オイルシールリップ部にキャッスル・MP グリースNo.2 を塗布する。

- (2) SST を使用して、新品のオイルシールを打ち込む。

S S T 09554-30011

基準値 オイルシール打ち込み量(キャリア端面から) 1.5mm

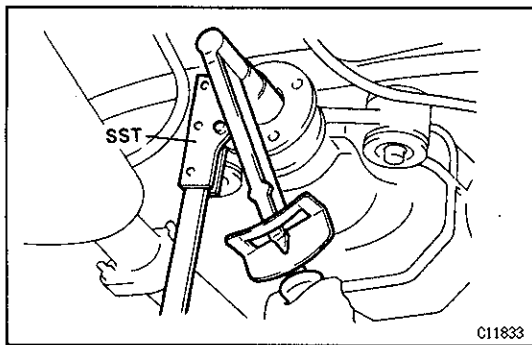


5 コンパニオンフランジ取り付け

- (1) SST を使用して、コンパニオンフランジを取り付ける。

S S T 09557-22022 09557-22030 (7.5 インチ)

09557-22022 09557-22050 (8 インチ)



- (2) 新品のナットのネジ部にキャッスル・ハイポイドギヤオイル LSD を塗布する。

- (3) SST を使用して、フランジを固定しナットを締め付ける。

S S T 09330-00021

T=1750kg·cm (7.5 インチ)

T=2650kg·cm (8 インチ)

6 ドライブピニオンプレロード点検

- (1) ドライブピニオンとリングギヤのバックラッシュの範囲内で起動トルクを測定する。

基準値 ベアリング新品時 12~19kg·cm (7.5 インチ)

11~17kg·cm (8 インチ)

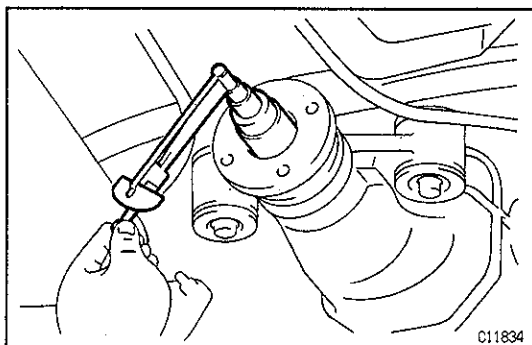
ベアリング再使用品時 6~10kg·cm (7.5 インチ)

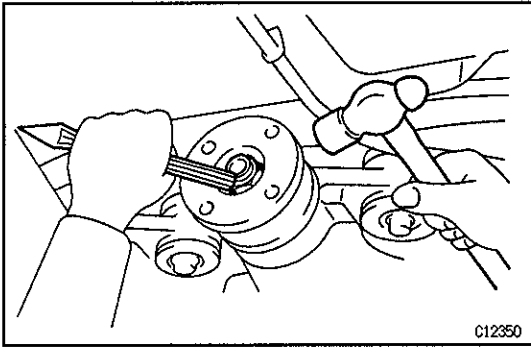
6~9kg·cm (8 インチ)

基準値外の場合はドライブピニオンプレロードを調整する。

(「ディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け」

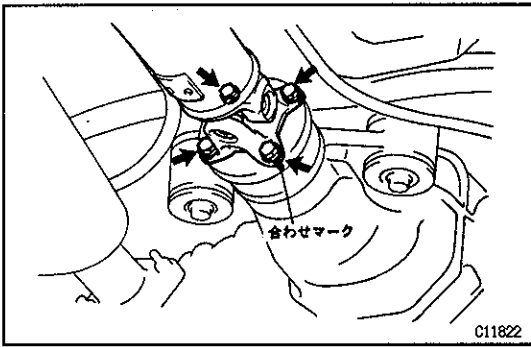
—「ドライブピニオンプレロード調整」参照)





7 ナットかしめ

- (1) タガネを使用して、ナットをかしめる。



8 プロペラシャフト取り付け

- (1) ディファレンシャルのコンパニオンフランジの合わせマークを合わせて、プロペラシャフトを取り付ける。

- (2) ボルトおよびナット各4個を締め付ける。

T=750kg·cm (2JZ-GE, 1JZ-GTE, 1JZ-GE, 2L-TE (MT) 車)

T=380kg·cm (1G-FE, 4S-FE, 2L-TE (AT) 車)

9 エキゾーストパイプ取り付け

T=440kg·cm

10 オイル量点検, 調整


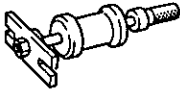
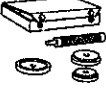


(「基本点検」 - 「ディファレンシャルオイル」参照)

サイドギヤシャフト

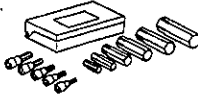

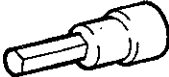
オイルシール

準備品

SST

	09308-00010	オイルシールブラー	サイドギヤシャフトオイルシール取りはずし用
	09520-24010	ディファレンシャルサイドギヤシャフトブラー	サイドギヤシャフト脱着用
	09550-22011	リヤアクスルベアリング アンドディファレンシャルツールセット	
	(09550-00020)	ハンドル	サイドギヤシャフトオイルシール取り付け用
	(09550-00031)	リブレーサー	サイドギヤシャフトオイルシール取り付け用

工具

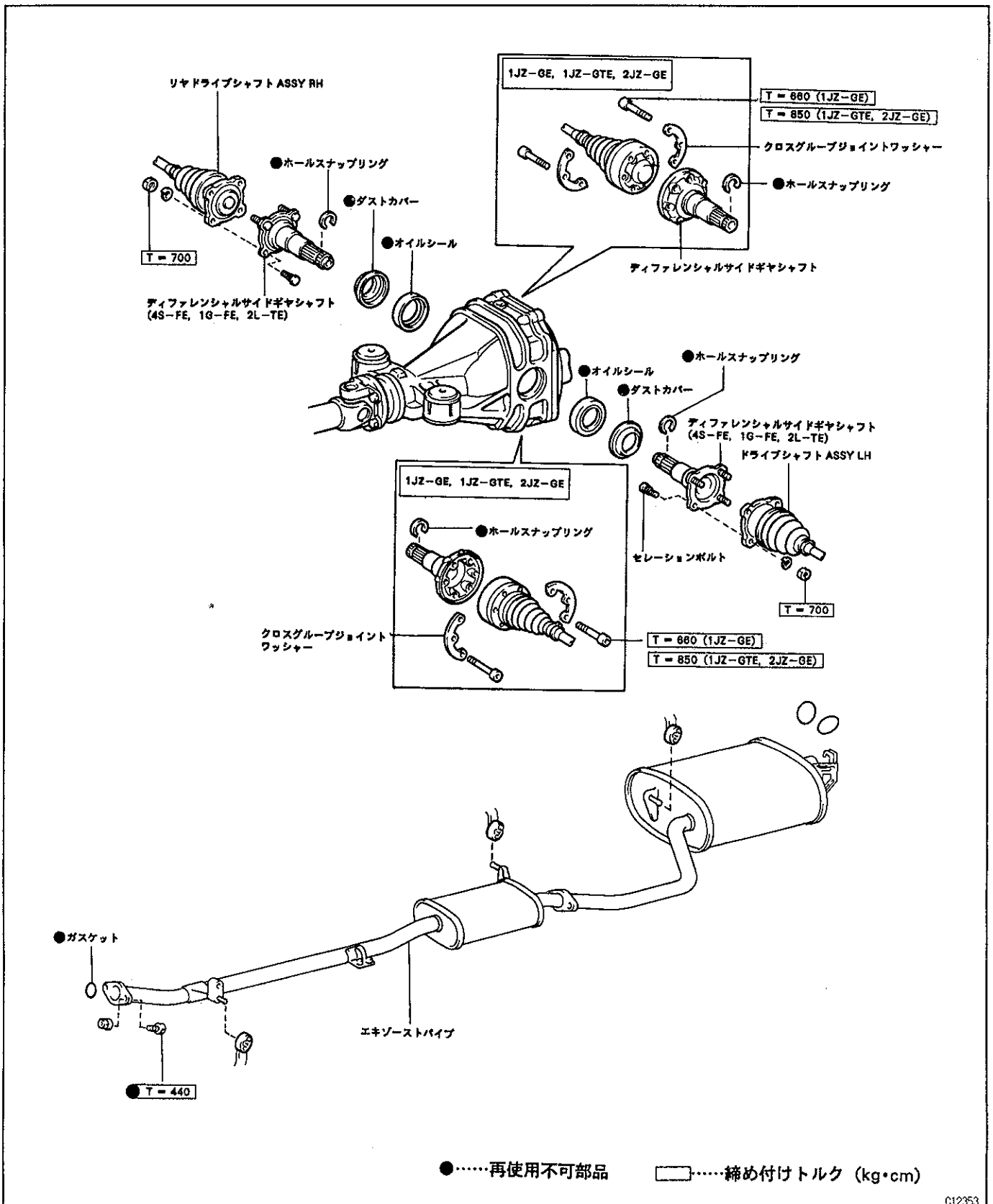
	09040-00010	ヘキサゴンレンチセット	
	(09043-20080)	ソケットヘキサゴンレンチ 8	ドライブシャフト取りはずし用 (1JZ-GE 搭載車)
	(09043-20100)	ソケットヘキサゴンレンチ 10	ドライブシャフト取りはずし用 (1JZ-GT E, 2JZ-GE 搭載車)

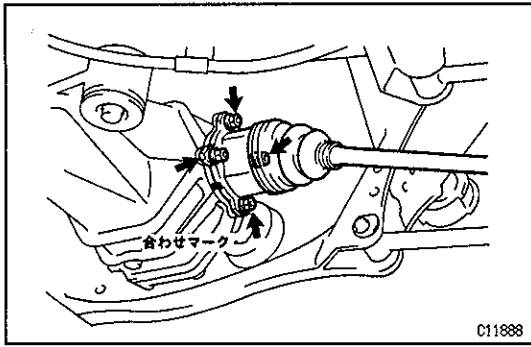
油脂・その他

キヤッスル・MP グリースNo.2	オイルシールリップ部塗布用
キヤッスル・ハイポイドギヤオイル SX	ディファレンシャル注入用
キヤッスル・ハイポイドギヤオイル LSD	ディファレンシャル (2 ピニオン LSD) 注入用

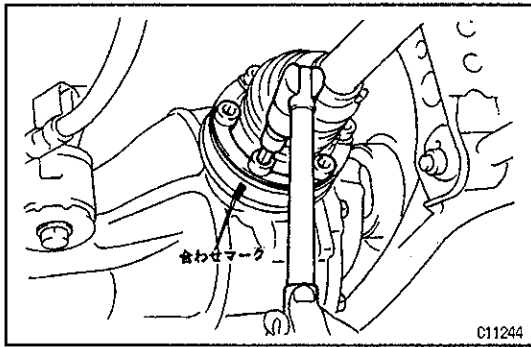
サイドギヤシャフトオイルシール

脱着構成図

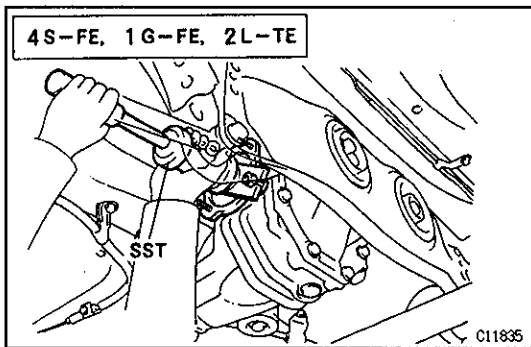




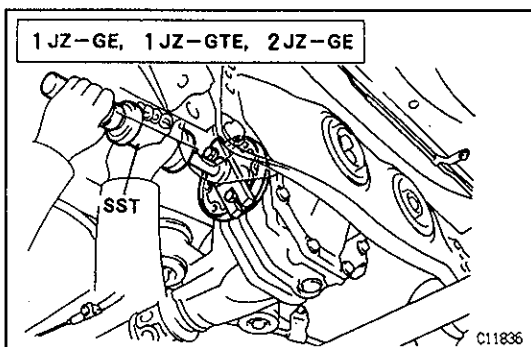
C11838



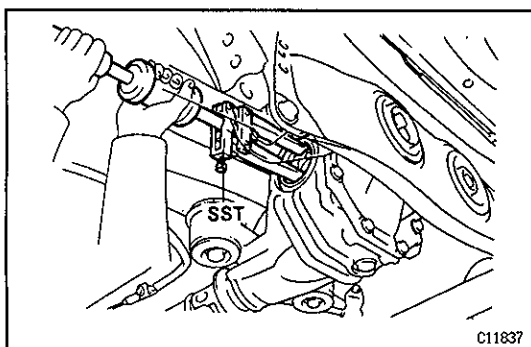
C11244



C11835



C11836



C11837

サイドギヤシャフトオイルシール取りはずし

1 エキゾーストパイプ取りはずし (RH 側交換の場合)

2 ドライブシャフト切り離し

- (1) ドライブシャフトとサイドギヤシャフトに、合わせマークを付ける。

注意 ポンチで合わせマークを付けない。

4S-FE, 1G-FE, 2L-TE 搭載車

- (2) パーキングブレーキを効かした状態で、ナットおよびワッシャーを取りはずし、ドライブシャフトをディファレンシャルから切り離す。

1JZ-GE, 1JZ-GTE, 2JZ-GE 搭載車

- (2) パーキングブレーキを効かした状態で、ソケットヘキサゴンレンチを使用して、ボルト6本およびプレートワッシャー2枚をはずし、ドライブシャフトをディファレンシャルから切り離す。

(参考) ソケットヘキサゴンレンチ8 (1JZ-GE)

ソケットヘキサゴンレンチ10 (1JZ-GTE, 2JZ-GE)

全車

- (3) ドライブシャフトは針金などで吊り下げておく。

注意 ドライブシャフトのインボードジョイントエンドカバーおよびブーツを傷つけないように気をつける。

3 サイドギヤシャフト取りはずし

4S-FE, 1G-FE, 2L-TE 搭載車

- (1) SSTをナットでサイドギヤシャフトに固定し、サイドギヤシャフトを取りはずす。

S S T 09520-24010

1JZ-GE, 1JZ-GTE, 2JZ-GE 搭載車

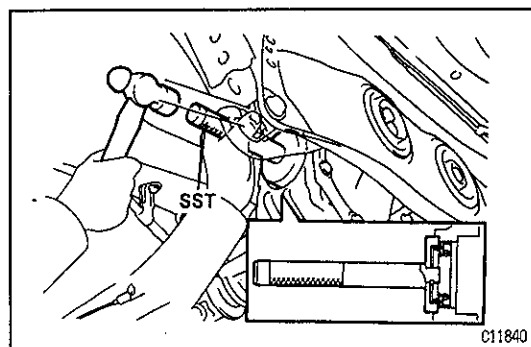
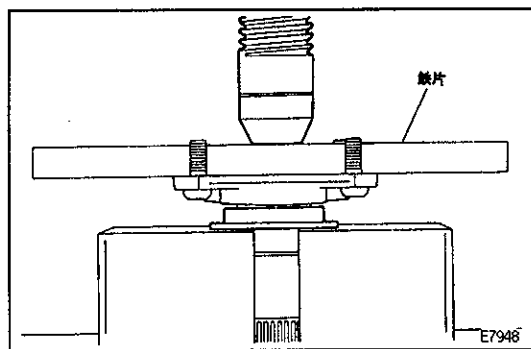
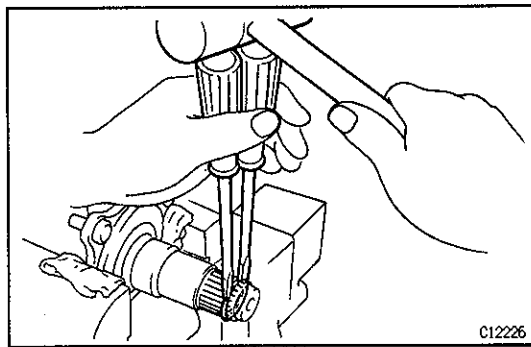
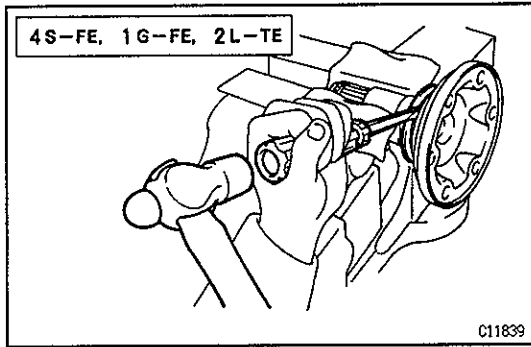
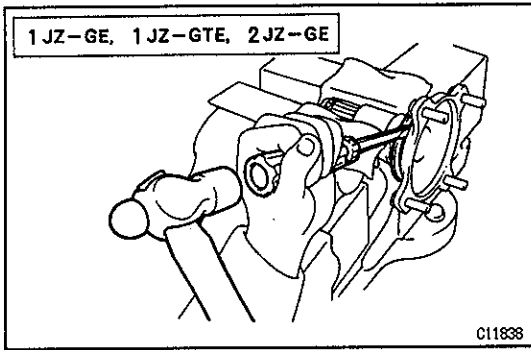
- (1) SSTをボルトでサイドギヤシャフトに固定し、サイドギヤシャフトを取りはずす。

S S T 09520-24010

4 オイルシール取りはずし

- (1) SSTを使用して、オイルシールを取りはずす。

S S T 09308-00010



5 サイドギヤシャフトダストカバー交換

- (1) シャフト部にウェスを巻きバイスに固定する。
注意 バイスは強く締めすぎない。
- (2) ⊖ドライバーを使用して、ダストカバーを取りはずす。

- (3) ⊖ドライバーを使用して、ホールスナップリングを取りはずす。

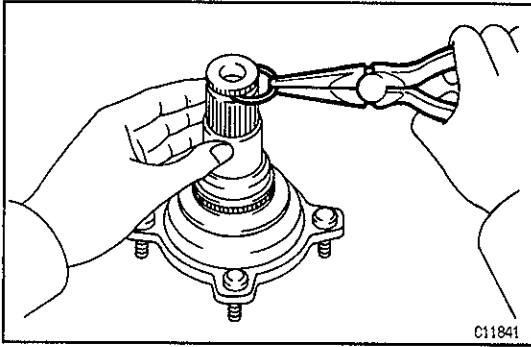
- (4) プレスを使用して、新品のダストカバーをサイドギヤシャフトに当たるまで圧入する。
注意 圧入時は、ダストカバーを確認しながら、少しずつゆっくりと行き、圧入しすぎない。

12

サイドギヤシャフトオイルシール取り付け

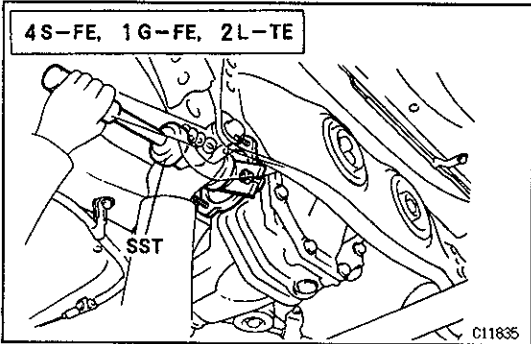
1 オイルシール取り付け

- (1) SST を使用して、新品のオイルシールをキャリヤ端面まで打ち込む。
 S S T 09550-00020 09550-00031
 基準値 キャリヤ端面から 0±0.5mm
- (2) オイルシールリップ部にキヤッスル・MP グリースNa 2 を塗布する。



2 サイドギヤシャフト取り付け

- (1) 新品のホールスナップリングをサイドギヤシャフトに組み付ける。
- (2) スナップリングにキャッスル・MP グリースNa2を塗布する。



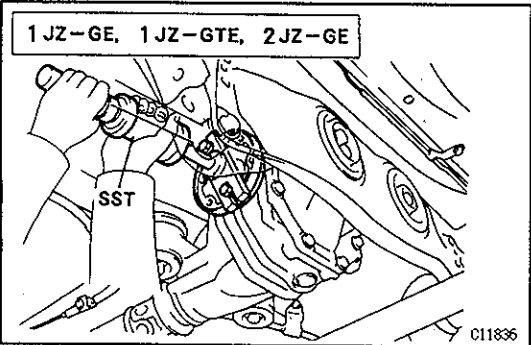
4S-FE, 1G-FE, 2L-TE 搭載車

- (3) SSTをナットで固定し、サイドギヤシャフトをディファレンシャルに打ち込む。

S S T 09520-24010

- 注意**
- ・スナップリングの切り口を下向きにして組み付ける。
 - ・挿入時、斜めに打ち込まない。斜めに打ち込んだ場合は、スナップリングを新品に取り替え、再度打ち込む。
 - ・オイルシールを傷つけない。

参考 打ち込み時、SSTの反発力の変化あるいは音質の変化でピニオンシャフトに当たっていることを判断できる。



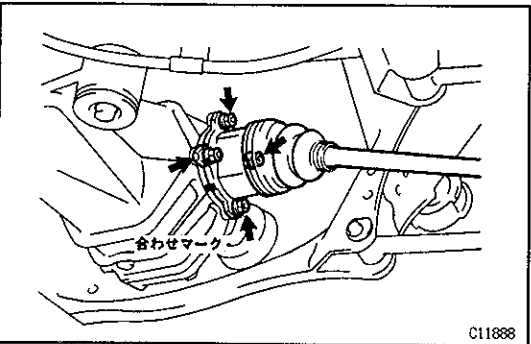
1JZ-GE, 1JZ-GTE, 2JZ-GE 搭載車

- (3) SSTをボルトで固定し、サイドギヤシャフトをディファレンシャルに打ち込む。

S S T 09520-24010

- 注意**
- ・スナップリングの切り口を下向きにして組み付ける。
 - ・挿入時、斜めに打ち込まない。斜めに打ち込んだ場合は、スナップリングを新品に取り替え、再度打ち込む。
 - ・オイルシールを傷つけない。

参考 打ち込み時、SSTの反発力の変化あるいは音質の変化でピニオンシャフトに当たっていることを判断できる。



3 ドライブシャフト取り付け

4S-FE, 1G-FE, 2L-TE 搭載車

- (1) 合わせマークを合わせて、ワッシャー4枚およびナット4個でドライブシャフトを取り付ける。

T=700kg·cm

1JZ-GE, 1JZ-GTE, 2JZ-GE 搭載車

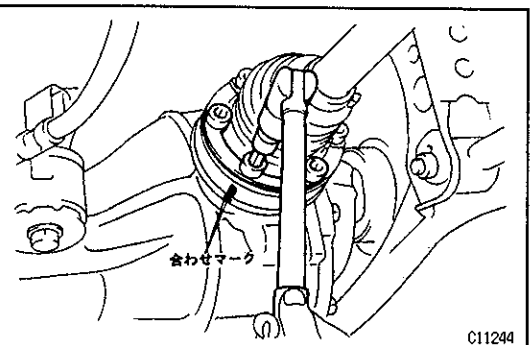
- (1) 合わせマークを合わせて、プレートワッシャー2枚を介し、ソケットヘキサゴンレンチを使用して、ボルト6本を締め付け、ドライブシャフトを取り付ける。

参考 ソケットヘキサゴンレンチ 8 (1JZ-GE)

ソケットヘキサゴンレンチ 10 (1JZ-GTE, 2JZ-GE)

T=660kg·cm (1JZ-GE)

T=850kg·cm (1JZ-GTE, 2JZ-GE)



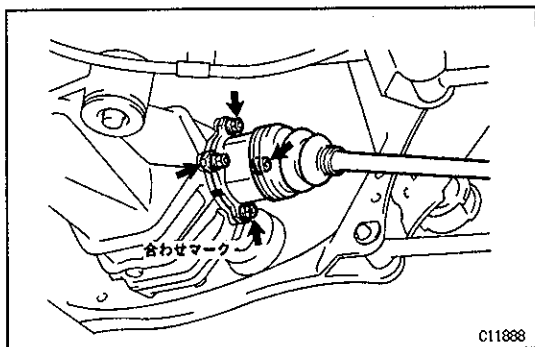
4 エキゾーストパイプ取り付け (RH側交換の場合)

5 オイル量点検, 調整

(「基本点検」 - 「ディファレンシャルオイル」参照)

セレーションボルト交換

(4S-FE, 1G-FE, 2L-TE 搭載車)



C11888

1 エキゾーストパイプ取りはずし (RH側交換の場合)

2 ドライブシャフト切り離し

- (1) ドライブシャフトとサイドギヤシャフトに、合わせマークを付ける。

注意 ポンチで合わせマークを付けない。

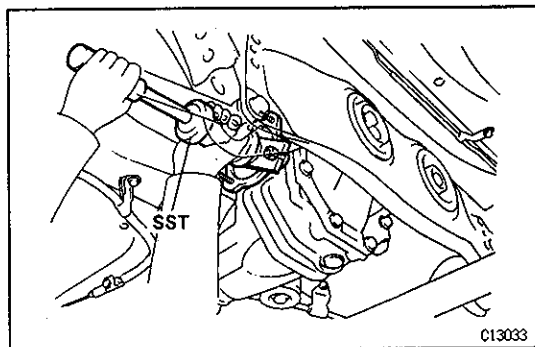
- (2) ドライブシャフトは針金などで吊り下げておく。

注意 ドライブシャフトのインボードジョイントエンドカバーおよびブーツを傷つけないように気をつける。

3 サイドギヤシャフト取りはずし

- (1) SSTをナットでサイドギヤシャフトに固定し、サイドギヤシャフトを取りはずす。

S S T 09520-24010

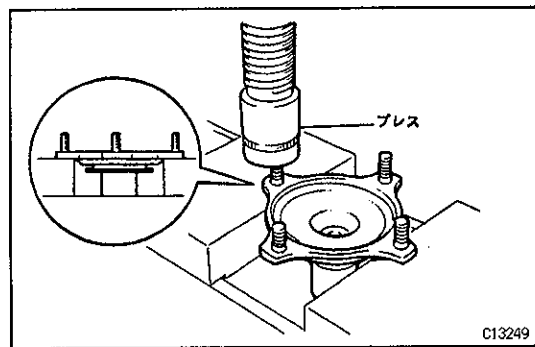


C13033

4 セレーションボルト取りはずし

- (1) プレスを使用して、セレーションボルトを取りはずす。

S S T 09611-12010



C13249

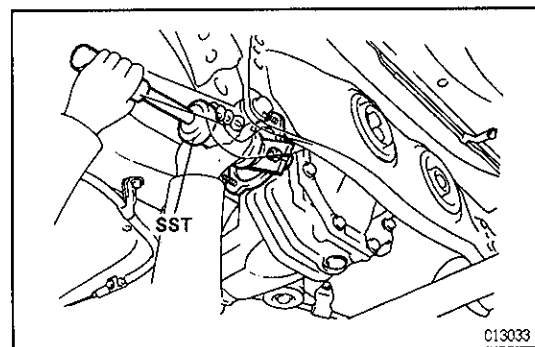
5 サイドギヤシャフト取り付け

- (1) SSTをナットで固定し、サイドギヤシャフトをディファレンシャルに打ち込む。

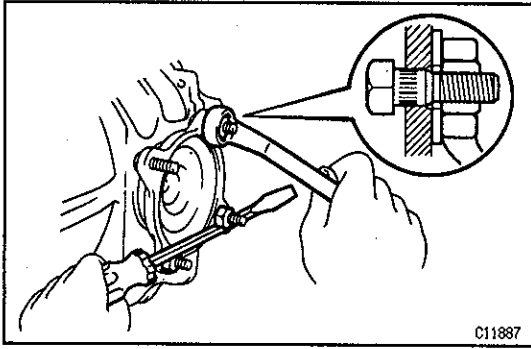
S S T 09520-24010

- 注意**
- ・スナップリングの切り口を下向きにして組み付ける。
 - ・挿入時、斜めに打ち込まない。斜めに打ち込んだ場合は、スナップリングを新品に取り替え、再度打ち込む。
 - ・オイルシールを傷つけない。

(参考) 打ち込み時、SSTの反発力の変化あるいは音質の変化でピニオンシャフトに当たっていることを判断できる。

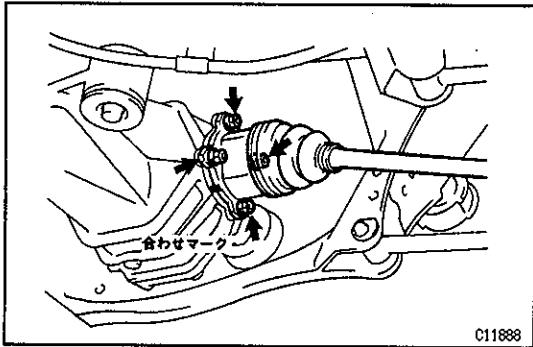


C13033



6 セレクションボルト取り付け

- (1) セレクションボルトに図のようなプレートワッシャーを介し、ボルト（呼び径 10mmピッチ 1.25）のナットを締め付けながらボルトを取り付ける。



7 ドライブシャフト取り付け

- (1) 合わせマークを合わせて、ワッシャー 4 枚およびナット 4 個でドライブシャフトを取り付ける。

T=700kg·cm

8 エキゾーストパイプ取り付け (RH 側交換の場合)



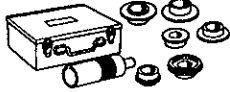
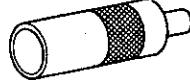
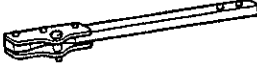
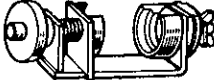
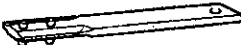
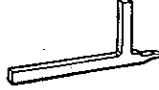

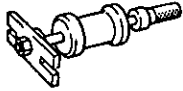


T=440kg·cm



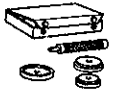
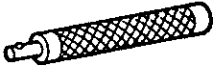


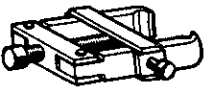
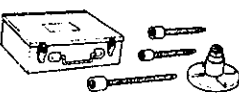






ディファレンシャル


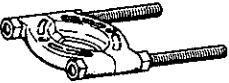
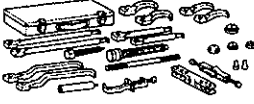


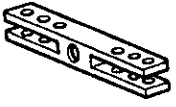

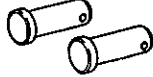

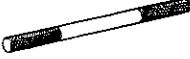
キャリア ASSY

準備品

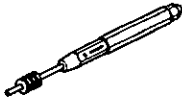
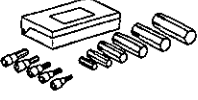


SST

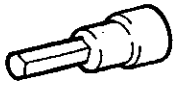
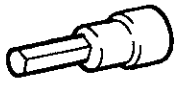
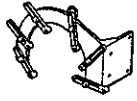
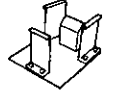
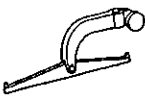
	09308-00010	オイルシールブラー	サイドギヤシャフトオイルシール取りはずし用
	09308-10010	オイルシールブラー	ドライブピニオンオイルシール取りはずし用
	09316-60010	トランスミッション アンド トランスファーベアリング リブレーサー	
	(09316-00010)	リブレーサーパイプ	テーバードロラーベアリング(サイドベア リング)取り付け用(8インチ)
	09330-00021	コンパニオンフランジ ホールディングツール	コンパニオンフランジ保持用
	09411-22011	サイドギヤスラストワッシャー アジャストツール	2ピニオン LSD の L 寸法測定用
	09504-00011	ディファレンシャルサイド ベアリングアジャスティング ナットレンチ	サイドベアリングアジャスティングナット調整 用
	09504-22011	ディファレンシャルサイド ワッシャーリムーバー アンド リブレーサー	プレートワッシャー脱着用
	09506-30012	ディファレンシャルドライブ ピニオンリヤベアリングコーン リブレーサー	ドライブピニオンリヤベアリング取り付け用
	09520-24010	ディファレンシャルサイドギヤ シャフトブラー	サイドギヤシャフト脱着用
	09550-10012	リブレーサーセット B	
	(09252-10010)	リブレーサーハンドルNo.1	テーバードロラーベアリング(サイドベア リング)取り付け用(7.5インチ)

	(09557-10010) ディファレンシャルドライブ ピニオンフロントベアリング リブレーサー	テーパードロラーベアリング(サイドベア リング)取り付け用 (7.5 インチ)
	(09558-10010) リヤアクスルシャフトオイル シールリブレーサー	テーパードロラーベアリング(サイドベア リング)取り付け用 (7.5 インチ)
	09550-22011 リヤアクスルベアリング アンド ディファレンシャルツールセット	
	(09550-00020) ハンドル	サイドギヤシャフトオイルシール取り付け用
	(09550-00031) リブレーサー	サイドギヤシャフトオイルシール取り付け用
	09554-30011 ディファレンシャルオイルシール リブレーサー	ドライブピニオンオイルシール取り付け用
	09556-22010 ドライブピニオンフロント ベアリングリムーバー	テーパードロラーベアリング(フロントベ アリング)取りはずし用
	09557-22022 コンパニオンフランジリムーバー アンド リブレーサー	コンパニオンフランジ脱着用
	(09557-22030) ボルトNo.1	コンパニオンフランジ脱着用 (7.5 インチ)
	(09557-22050) ボルトNo.3	コンパニオンフランジ脱着用 (8 インチ)
	09608-35014 アクスルハブ アンド ドライブ ピニオンベアリングツールセット	
	(09608-06020) ハンドル	フロントおよびリヤベアリングアウターレース 取り付け用
	(09608-06110) フロントハブインナー アンド ドライブピニオンフロント ベアリングカップリブレーサー	フロントベアリングアウターレース取り付け用
	(09608-06120) フロントハブアウターベアリング カップリブレーサー	リヤベアリングアウターレース取り付け用 (7.5 インチ)

	(09608-06180)	ドライブピニオンリヤベアリング カップリプレサー	リヤベアリングアウターレース取り付け用 (8 インチ)
	09950-00020	ベアリングリムーバー	ドライブピニオンリヤベアリング取りはずし用
	09950-20017	ユニバーサルプラー	
	(09952-20010)	スクリュー	テーパードロローベアリング(サイドベア リング)取りはずし用
	(09954-20011)	アジャストスクリュー	テーパードロローベアリング(サイドベア リング)取りはずし用
	(09955-20012)	プロパー	テーパードロローベアリング(サイドベア リング)取りはずし用
	(09956-20011)	タイティングピース	テーパードロローベアリング(サイドベア リング)取りはずし用
	(09957-20010)	ピン	テーパードロローベアリング(サイドベア リング)取りはずし用
	(09958-30010)	アタッチングディスク C	テーパードロローベアリング(サイドベア リング)取りはずし用
	(09959-20010)	ハンドル	テーパードロローベアリング(サイドベア リング)取りはずし用

工 具

	09031-00040	ピンポンチ	ストレートピン脱着用
	09040-00010	ヘキサゴンレンチセット	
	(09043-20060)	ソケットヘキサゴンレンチ 6	リヤスタビライザーバー脱着用
	(09043-20080)	ソケットヘキサゴンレンチ 8	ドライブシャフト脱着用 (1JZ-GE 搭載車)

	(09043-20100) ソケットヘキサゴンレンチ 10	ドライブシャフト脱着用 (1JZ-GTE, 2JZ-GE 搭載車)
	(09043-20120) ソケットヘキサゴンレンチ 12	ディファレンシャルキャリア ASSY 取りはずし用
	ES-5TB FR 用 A/T オーバーホールアタッチメント (TL-FR) 輪バンザイ扱い 輪イヤサカ扱い	ディファレンシャルキャリア固定用
	HUJ-1TB トランスミッションジャッキアタッチメント (TL-AT) 輪バンザイ扱い 輪イヤサカ扱い	ディファレンシャルキャリア ASSY 脱着用
	XY-1 ダイヤルゲージレバー式測定子 輪バンザイ扱い 輪イヤサカ扱い	コンパニオンフランジ振れ点検用
ソケットレンチ (30mm) 09011-12301		ドライブピニオンナット脱着用

計 器

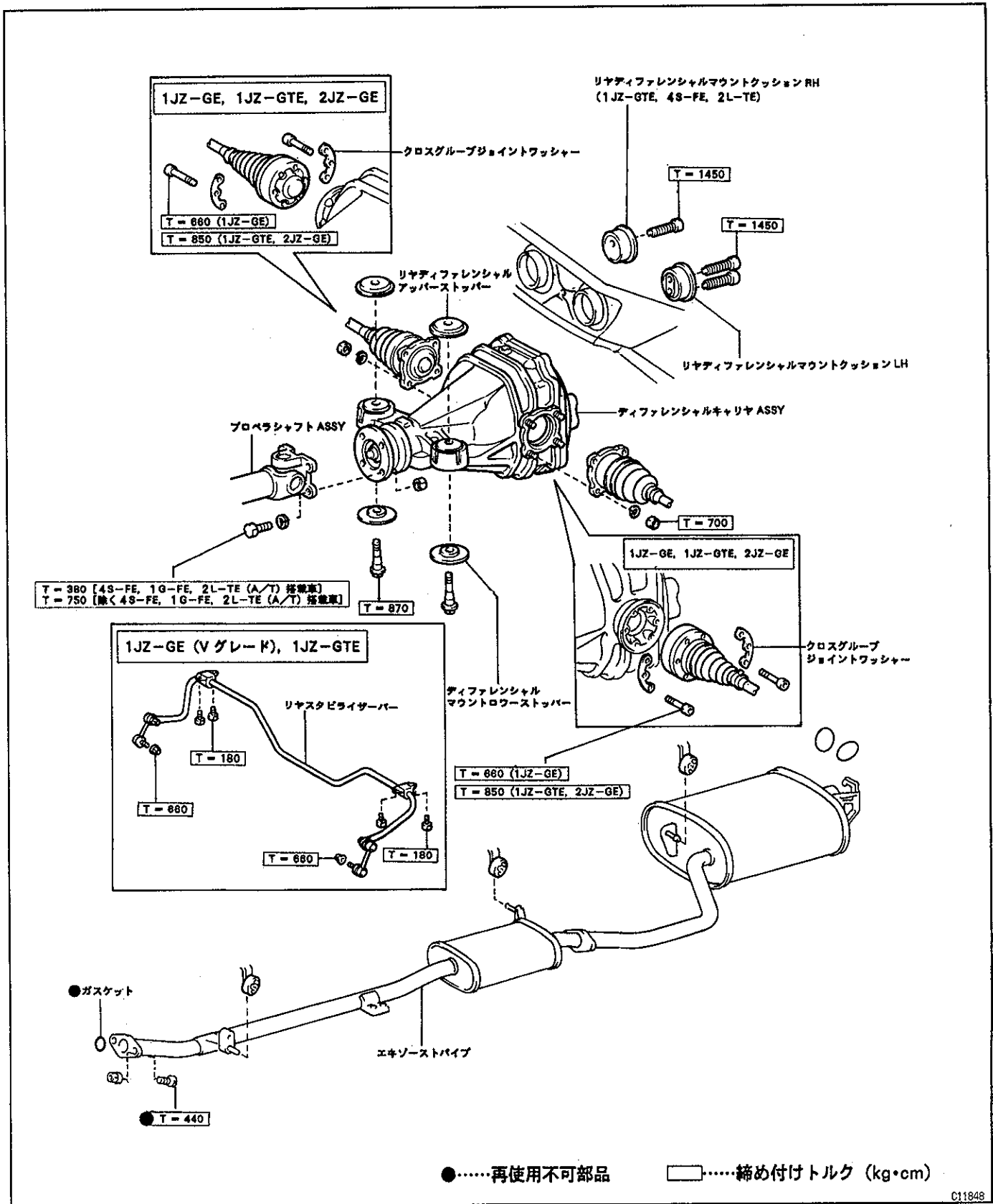
ダイヤルゲージ	各部点検用
マイクロメーター (0~25mm)	プレートワッシャー厚さ測定用
トルクレンチ (0~30kg·cm)	プレロード測定用
トルクレンチ (700~4200kg·cm)	ドライブピニオンナット締め付け用
外パス	サイドギヤシャフト打ち込み量点検

油脂・その他

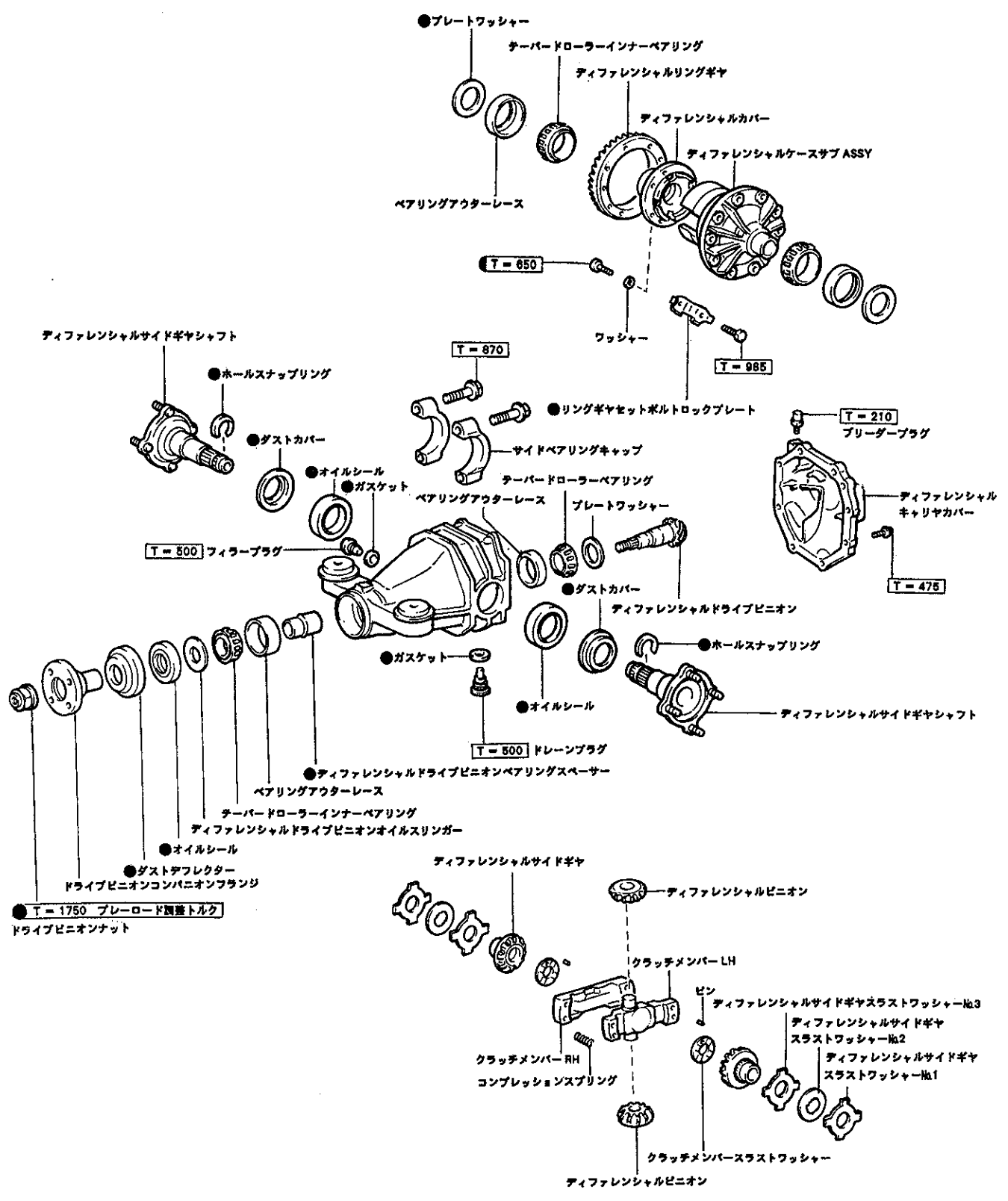
キャッスル・MP グリースNo.2	オイルシールリップ部塗布用
キャッスル・ハイポイドギヤオイル SX	ディファレンシャル注入用
キャッスル・ハイポイドギヤオイル LSD	ディファレンシャル (2 ピニオン LSD) 注入用
光明丹	歯当たり点検用
シールパッキン 1281	ディファレンシャルキャリアカバーおよびアクセスハウジングエンドガスケットへの塗布用

ディファレンシャルキャリア ASSY

脱着構成図



2 ピニオン LSD

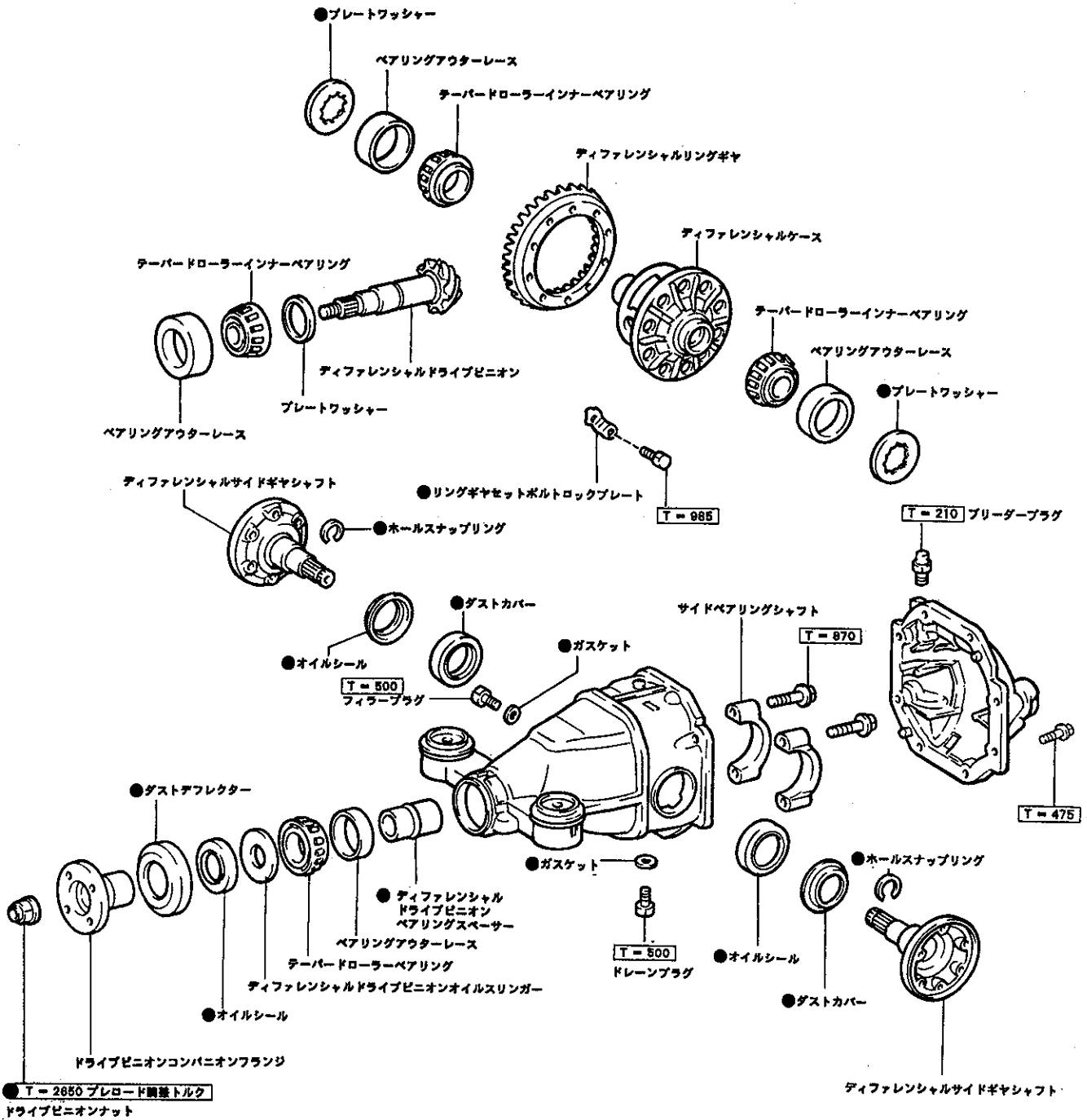


● アドヘシブ 1344 塗布 ● 再使用不可部品 □ 締め付けトルク (kg·cm)

C11847

12

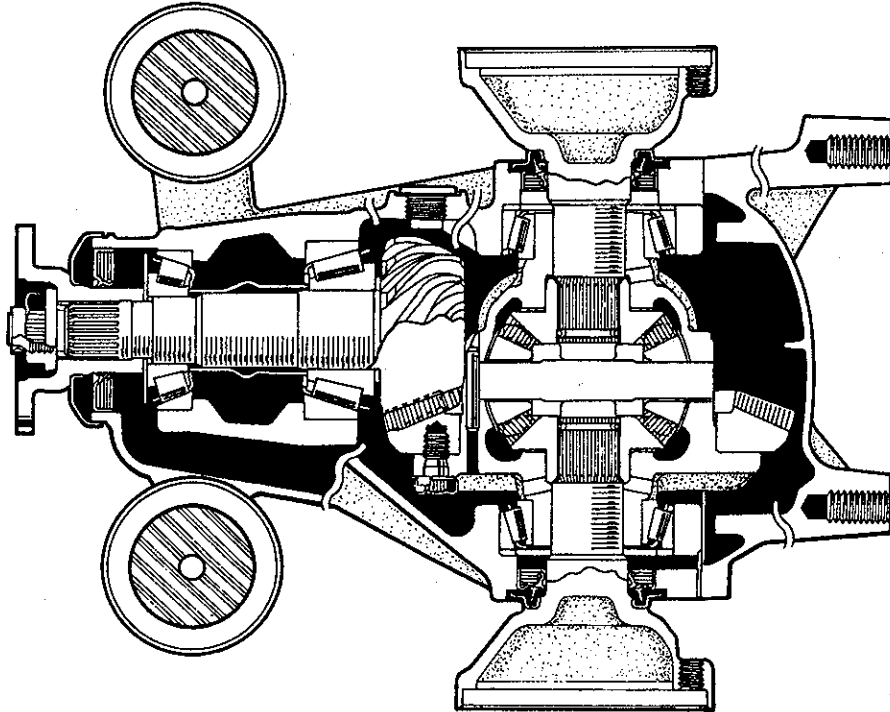
トルセン LSD



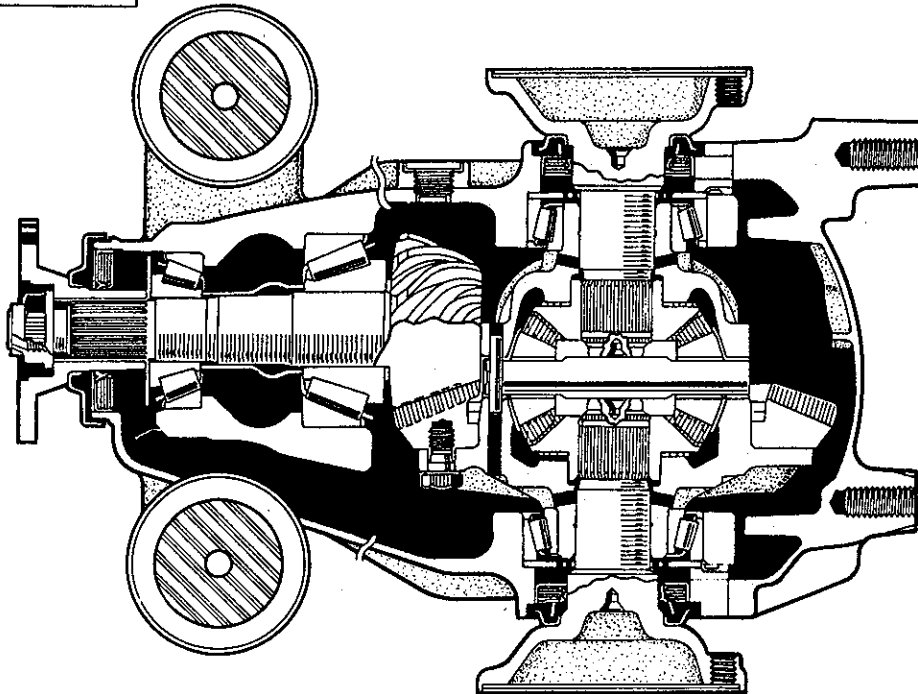
●.....再使用不可部品 □.....締め付けトルク (kg・cm)

断面図

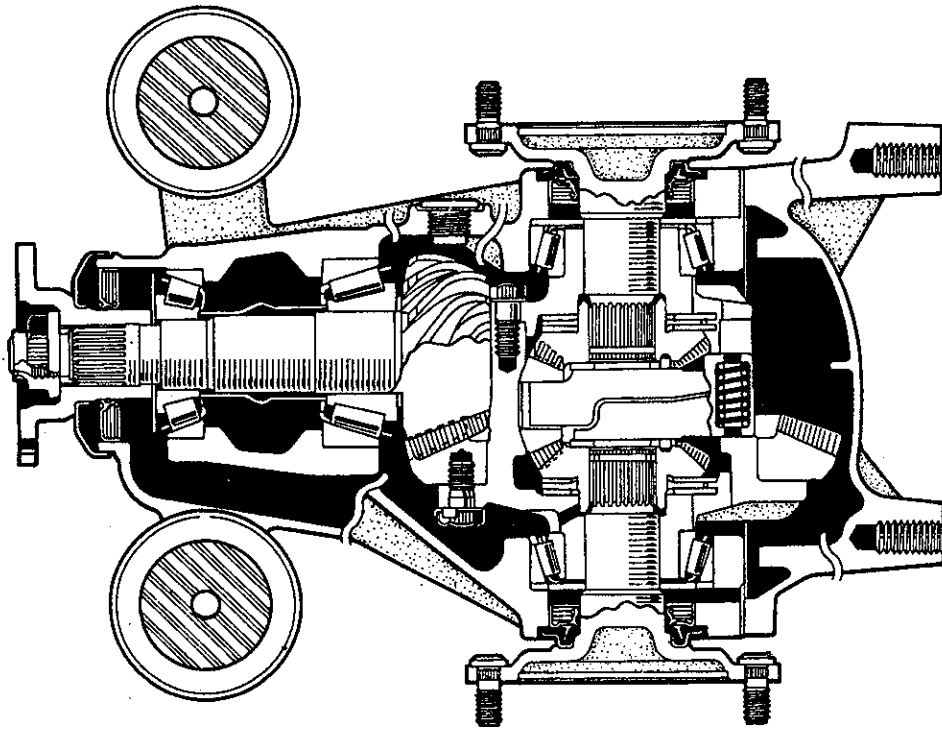
2 ピニオン (7.5 インチ)



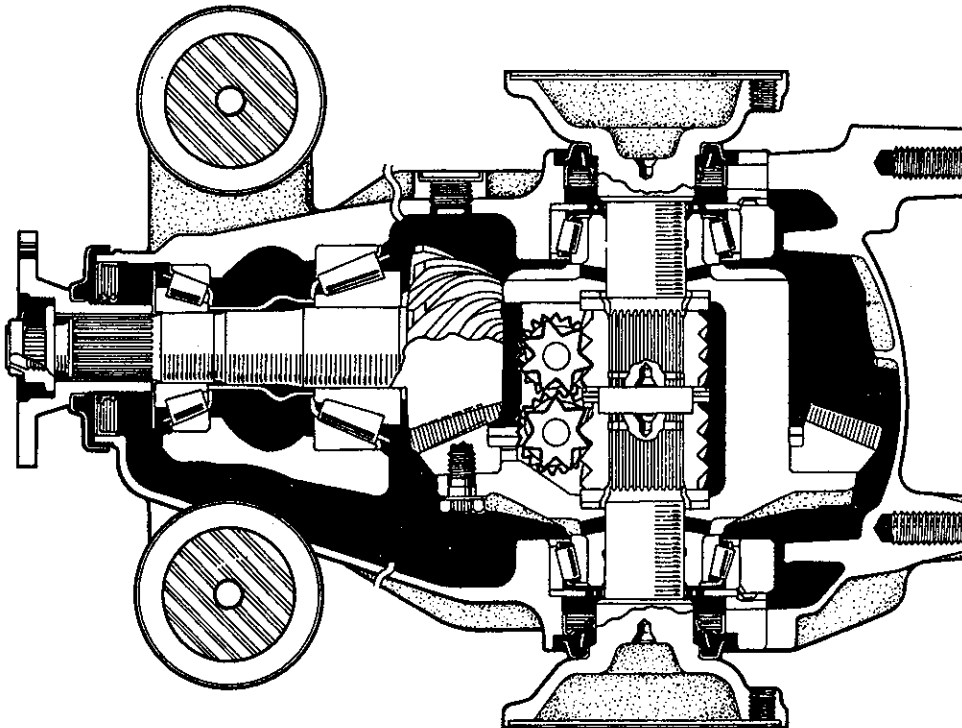
2 ピニオン (8 インチ)



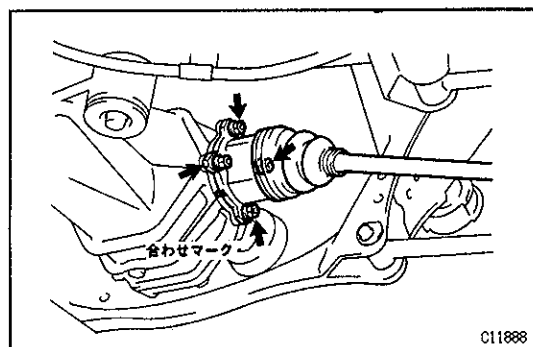
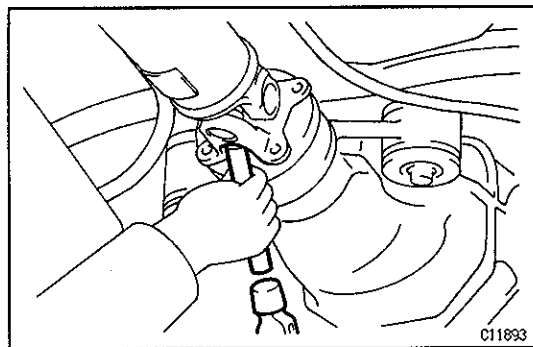
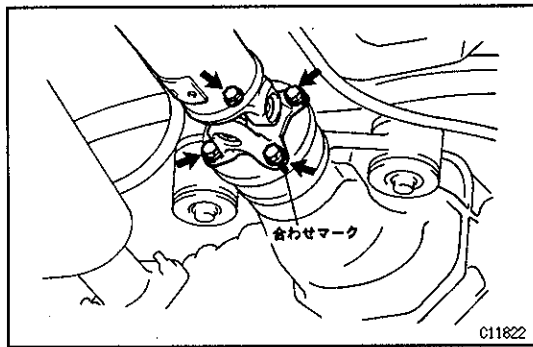
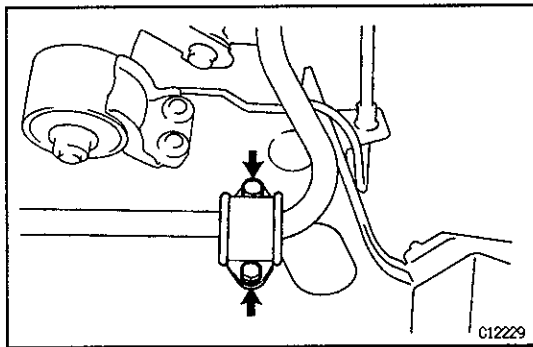
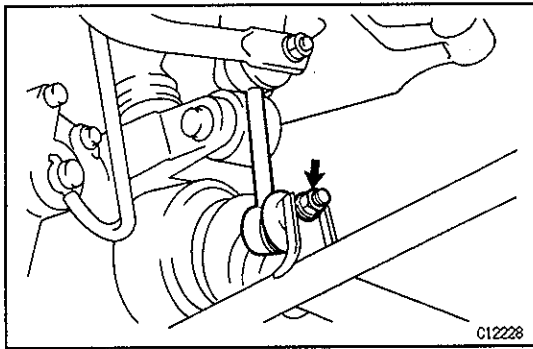
2 ピニオン LSD (7.5 インチ)



トルセン LSD (8 インチ)



12



ディファレンシャルキャリア ASSY 取りはずし

- 1 エキゾーストパイプ取りはずし
- 2 リヤスタビライザーバー取りはずし (1JZ-GE, 1JZ-GTE 搭載車)

(1) ソケットヘキサゴンレンチ6を使用してスタッドを固定し、ナットを取りはずす。

(2) ボルト左右各2本をはずして、スタビライザーブラケットおよびスタビライザーバーを取りはずす。

3 プロペラシャフト切り離し

- (1) プロペラシャフトのフランジヨークとコンパニオンフランジに合わせマークを付ける。
- (2) ボルトおよびナット各4個をはずし、プロペラシャフトを切り離す。

注意 コンポジットプロペラシャフトは次の点に注意して作業を行う。

- ① チューブ (樹脂部) をたたかない。
- ② チューブ (樹脂部) にキズを付けない。
- ③ 他の部品に当てたり、落下させない。

(「プロペラシャフト」-「プロペラシャフト」-「注意事項」)

(参考) フランジの結合が固い場合は、プラスパーとハンマーを使用して、プロペラシャフトの図の位置を軽く均等にたたいて切り離す。

- (3) プロペラシャフトのジョイント部に無理な力が加わらないようにプロペラシャフトを吊り下げる。

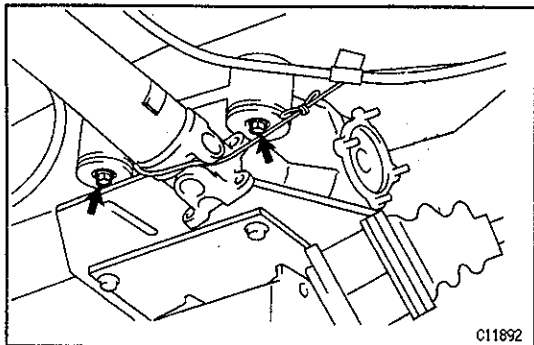
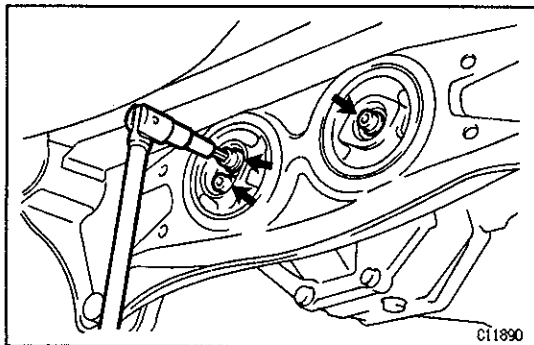
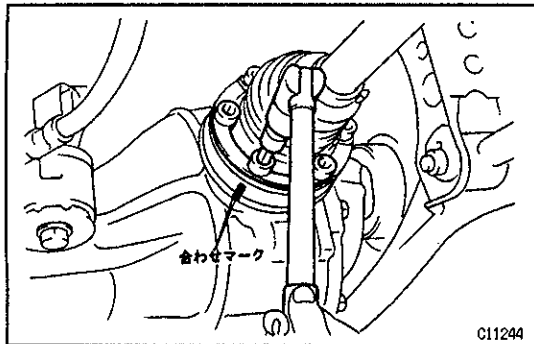
4 ドライブシャフト (左右) 切り離し

- (1) ドライブシャフトとサイドギヤシャフトに、合わせマークを付ける。

注意 ポンチで合わせマークを付けない。

4S-FE, 1G-FE, 2L-TE 搭載車

- (2) パーキングブレーキを効かした状態で、ナットおよびワッシャー4個を取りはずし、ドライブシャフト (左右) をディファレンシャルから切り離す。



1JZ-GE, 1JZ-GTE, 2JZ-GE 搭載車

- (2) パーキングブレーキを効かした状態で、ソケットヘキサゴンレンチを使用して、ボルト6本およびプレートワッシャー2枚をはずし、ドライブシャフト（左右）をディファレンシャルから切り離す。

〈参考〉 ソケットヘキサゴンレンチ 8 (1JZ-GE)

ソケットヘキサゴンレンチ 10 (1JZ-GTE, 2JZ-GE)

全車

- (3) ドライブシャフトは針金などで吊り下げておく。

〔注意〕 ドライブシャフトのインボードジョイントエンドカバーブーツを傷つけないように気をつける。

5 ディファレンシャルキャリア ASSY 取りはずし

- (1) ディファレンシャルキャリア ASSY をトランスミッションジャッキで支持する。

〔注意〕 ジャッキの受け面がコンパニオンフランジやサイドギヤシャフトに当たらないようにする。

- (2) ソケットヘキサゴンレンチ 12 を使用して、ボルトをはずし、ディファレンシャルキャリア ASSY をリヤディファレンシャルマウントクッションから切り離す。

〈参考〉 ボルト 3本……1JZ-GTE, 4S-FE, 2L-TE

ボルト 2本……2JZ-GE, 1JZ-GE, 1G-FE

(左側のみ)

- (3) ボルト 2本をはずし、リヤディファレンシャルマウントロースタッパをはずし、ディファレンシャルキャリア ASSY を車両両側から取りはずす。

〔注意〕 ディファレンシャルキャリア ASSY をドライブシャフトに干渉させない。

- (4) トランスミッションジャッキを取りはずす。

- (5) ディファレンシャルキャリア ASSY からリヤディファレンシャルマウントアッパースタッパを取りはずす。

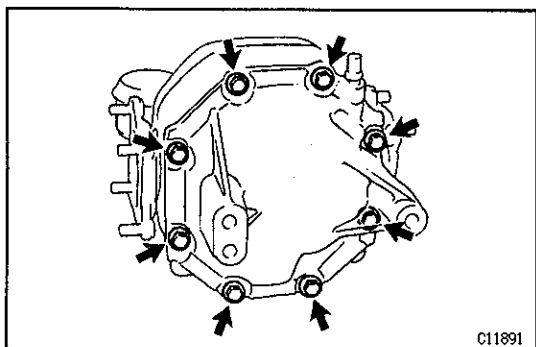
ディファレンシャルキャリア ASSY 分解前点検

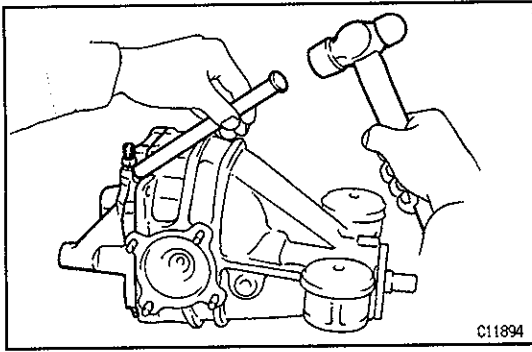
〈参考〉 4～10の分解前点検は不具合のあるものを分解する場合必ず点検する。

1 ディファレンシャルオイル抜き取り

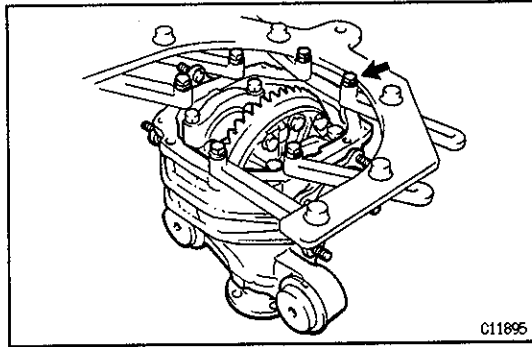
2 ディファレンシャルキャリアカバー取りはずし

- (1) ボルト 8本を取りはずす。



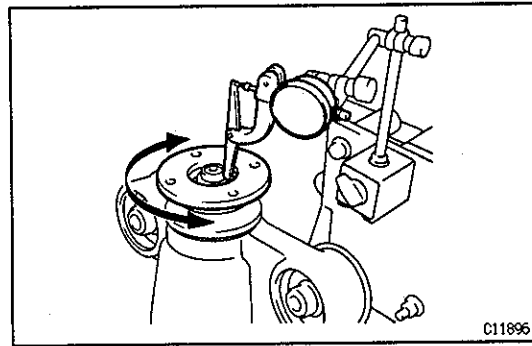


- (2) プラスパーを使用して、軽くたたいてキャリアカバーを取りはずす。



3 ディファレンシャルキャリア ASSY 固定

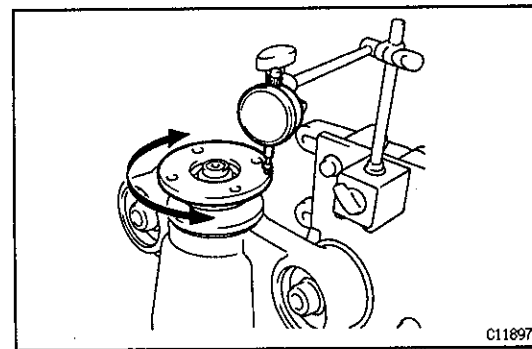
- (1) ディファレンシャルキャリア ASSY をオーバーホールアタッチメントに固定する。



4 コンパニオンフランジ振れ点検

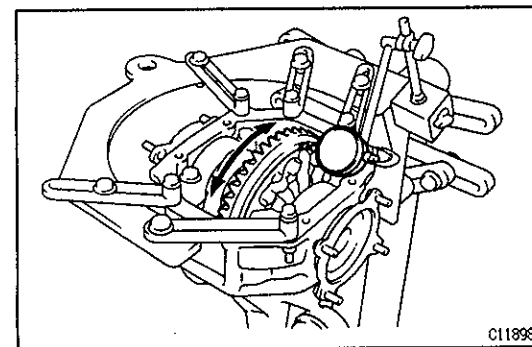
- (1) ダイアルゲージをコンパニオンフランジの内周面に直角に取り付け、コンパニオンフランジの縦振れを測定する。

限度 0.09mm



- (2) ダイアルゲージをコンパニオンフランジ面に直角に、またボルト取り付け穴の外側に取り付け、コンパニオンフランジの横振れを測定する。

限度 0.09mm

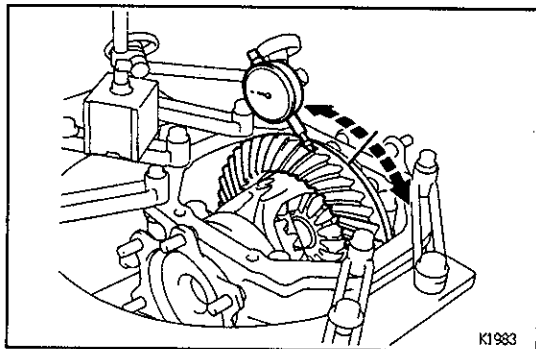


5 リングギヤ振れ点検

- (1) コンパニオンフランジを回して、リングギヤの背面の振れをダイヤルゲージで点検する。

限度 0.07mm

12



K1983

6 リングギヤのバックラッシュ点検

- (1) ダイアルゲージをリングギヤの歯面先端に直角に当ててドライブピニオンを固定し、リングギヤを動かして測定する。

基準値 0.13~0.18mm (除く 1JZ-GE)

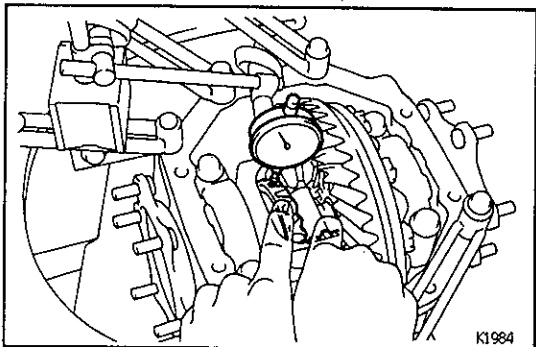
0.10~0.15mm (1JZ-GE)

注意 リングギヤ円周上の3箇所以上で測定する。

7 リングギヤとドライブピニオンの歯当たり点検

(「ディファレンシャルキャリア ASSY」

- 「リングギヤとドライブピニオンの歯当たり点検」参照)

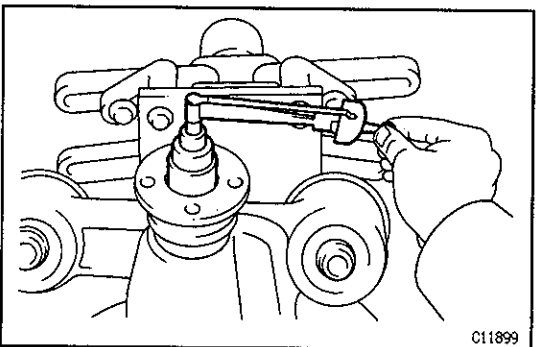


K1984

8 サイドギヤのバックラッシュ点検 (2ピニオン)

- (1) ダイアルゲージをサイドギヤの歯面先端に直角に当て、ピニオンをディファレンシャルケースの方へ固定しバックラッシュを測定する。

基準値 0.05~0.20mm



C11899

9 ドライブピニオンプレロード測定

- (1) トルクレンチを使用して、ドライブピニオンとリングギヤのバックラッシュの範囲内で起動トルクを測定する。

基準値 7.5インチ 6~10kg·cm

8インチ 6~9kg·cm

10 総合プレロード点検

- (1) トルクレンチを使用して、ドライブピニオンとリングギヤ歯面を当てた状態で起動トルクを測定する。

基準値 総合プレロード=ドライブピニオンプレロード

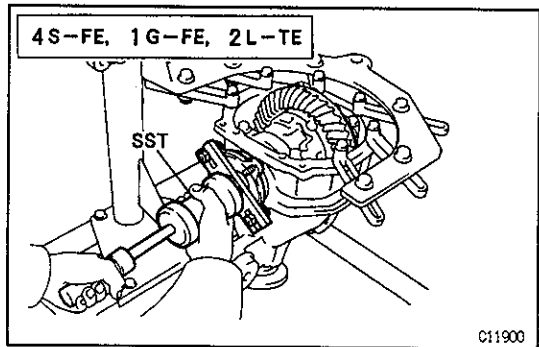
+4~6kg·cm

ディファレンシャルキャリア ASSY 分解

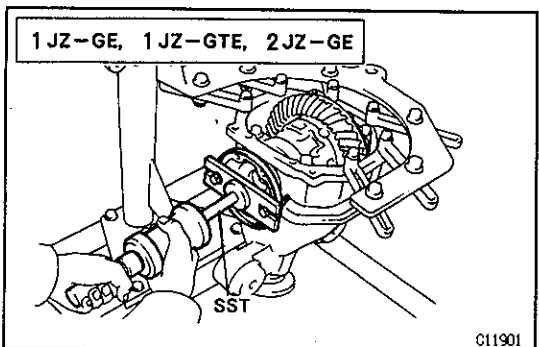
1 サイドギヤシャフト取りはずし

- (1) SSTでサイドギヤシャフトに固定して、ディファレンシャルキャリアからサイドギヤシャフトを取りはずす。

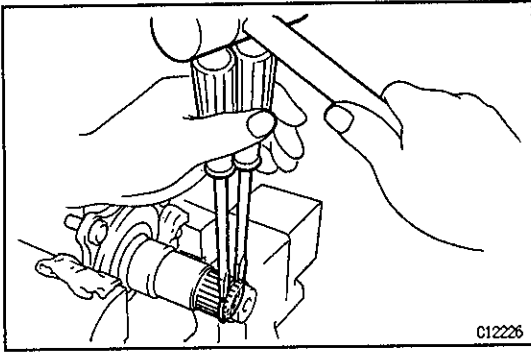
SST 09520-24010



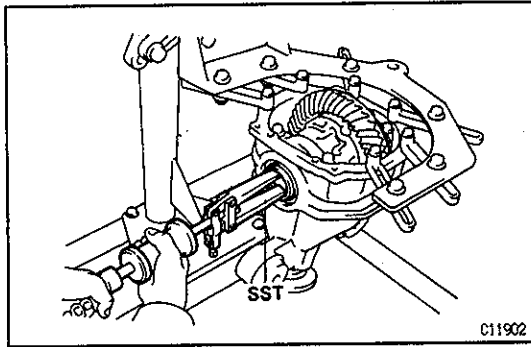
C11900



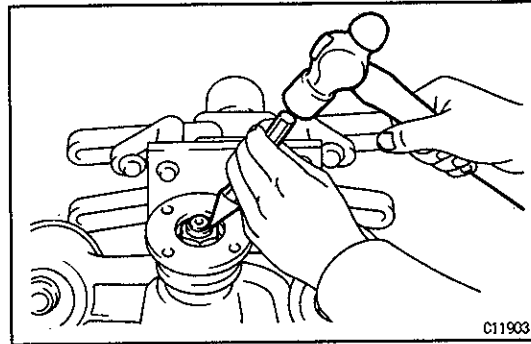
C11901



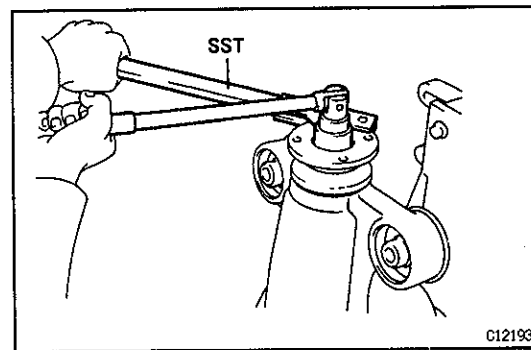
- (2) ⊖ドライバーを使用して、シャフトからスナップリングを取りはずす。



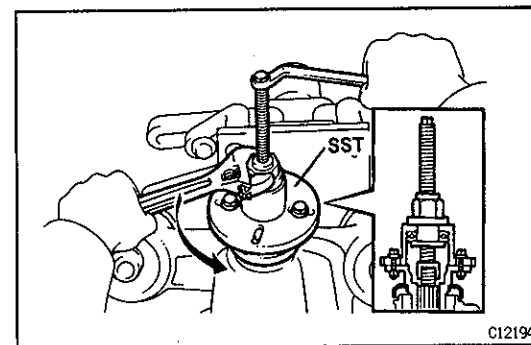
- 2 サイドギヤシャフトオイルシール取りはずし
 (1) SSTを使用して、オイルシール2個を取りはずす。
 S S T 09308-00010



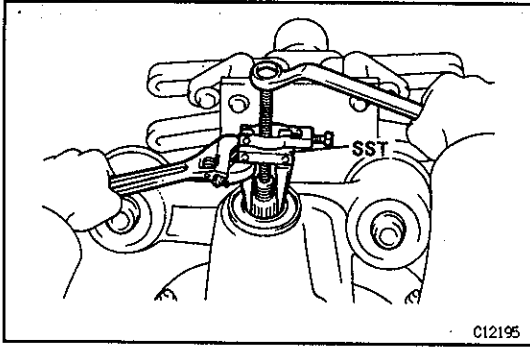
- 3 コンパニオンフランジ取りはずし
 (1) タガネを使用して、ナットのかしめを解く。



- (2) SSTを使用して、フランジを固定し、ナットを取りはずす。
 S S T 09330-00021



- (3) SSTを使用して、コンパニオンフランジを取りはずす。
 S S T 09557-22022 09557-22030 (7.5インチ)
 09557-22022 09557-22050 (8インチ)

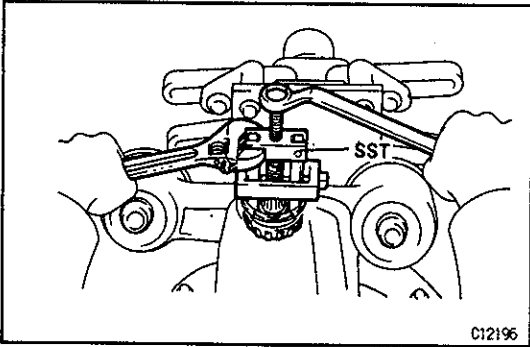


4 オイルシール取りはずし

- (1) SSTを使用して、オイルシールをディファレンシャルキャリアから取りはずす。

S S T 09308-10010

5 ドライブピニオンオイルスリンガー取りはずし

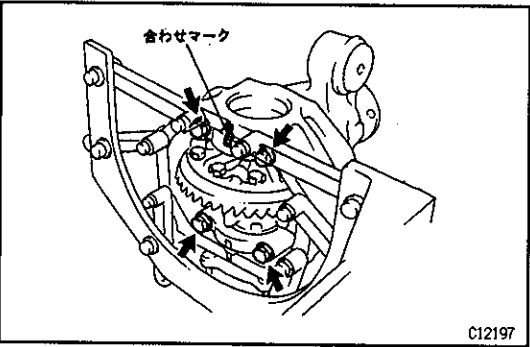


6 テーパーローラーインナーベアリング(フロントベアリング)取りはずし

- (1) SSTを使用して、テーパーローラーインナーベアリングをディファレンシャルキャリアから取りはずす。

S S T 09556-22010

7 ベアリングスペーサー取りはずし

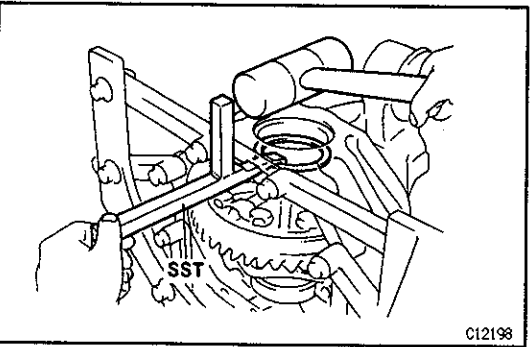


8 ディファレンシャルケース ASSY 取りはずし

- (1) ベアリングキャップとディファレンシャルキャリアに合わせマークを付ける。

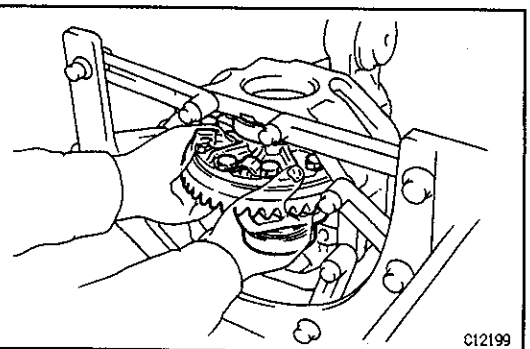
- (2) ボルト4本を取りはずし、ベアリングキャップ2個を取りはずす。

注意 ベアリングキャップとキャリアは一体で加工されているため組合せを変えない。



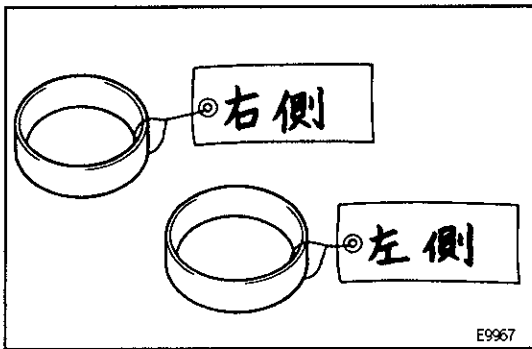
- (3) SSTを使用して、プレートワッシャー(バックラッシュ調整用)を取りはずす。

S S T 09504-22011

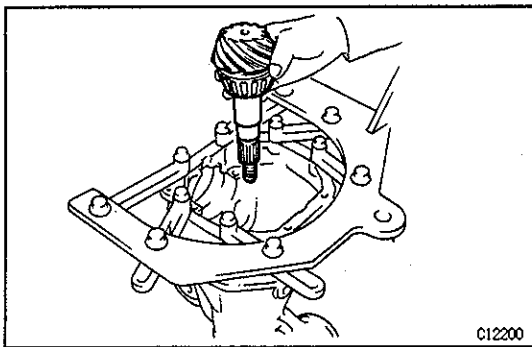


- (4) ディファレンシャルケースをベアリングアウターレースとともに取りはずす。

注意 ベアリングおよびリングギヤディファレンシャルキャリアに干渉させない。

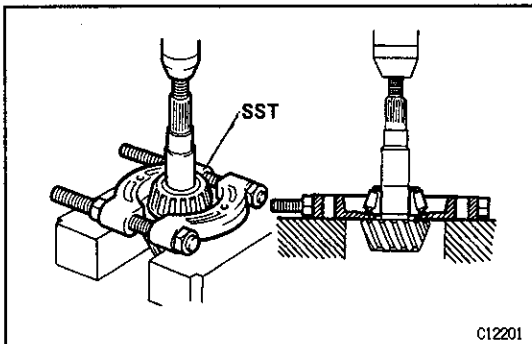


注意 ベアリングアウターレースに左右（背面側、歯面側）の識別マークを付けるかまたは別々に整理する。



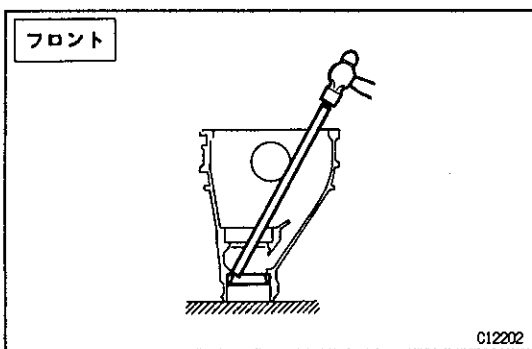
9 ドライブピニオン取りはずし

- (1) ディファレンシャルキャリアからドライブピニオンを取りはずす。



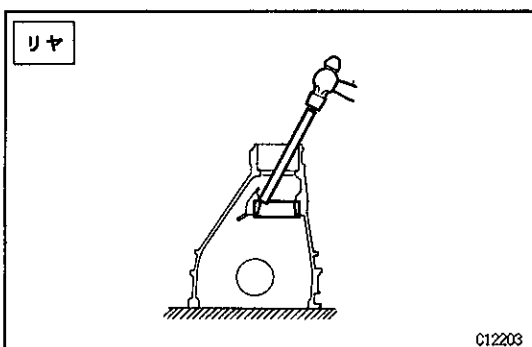
10 ドライブピニオンリヤベアリング取りはずし

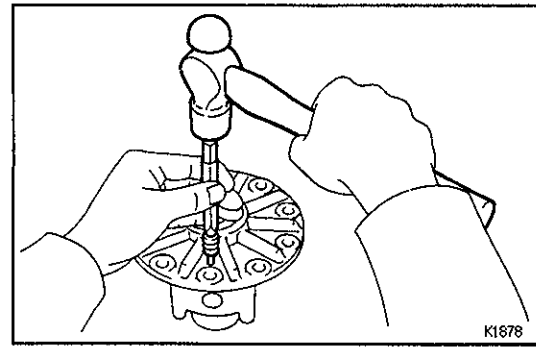
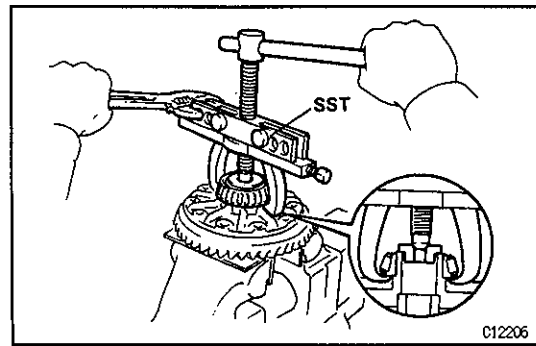
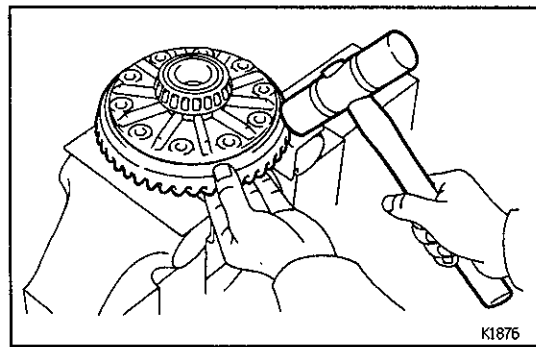
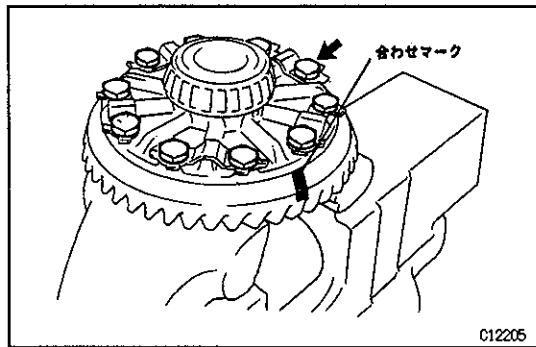
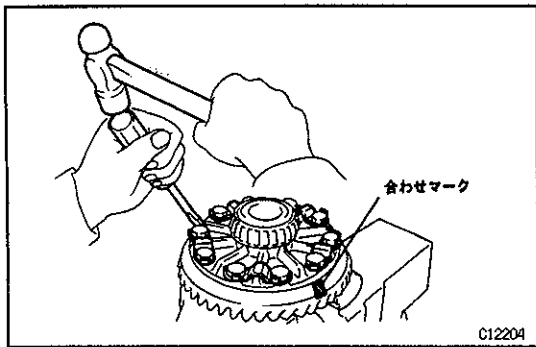
- (1) SST およびプレスを使用して、ドライブピニオンからリヤベアリングを取りはずす。
S S T 09950-00020
- (2) プレートワッシャーを取りはずす。



11 フロントおよびリヤドライブピニオンベアリングアウターレース取りはずし

- (1) プラスパーを使用して、ベアリングアウターレースを軽く均等にたたきながら打ち抜く。





12 リングギヤ取りはずし

- (1) ディファレンシャルケースとリングギヤに合わせマークを付ける。
- (2) ⊖ドライバーを使用して、ロックプレートのかしめを解く。

- (3) ボルト 10 本およびロックプレート 5 個を取りはずす。

- (4) プラスチックハンマーを使用して、リングギヤ外周を軽くたたいて取りはずす。

13 テーパーローラーインナーベアリング (サイドベアリング) 取りはずし

- (1) ディファレンシャルケースの切り欠き部よりベアリングのインナーレースに SST のツメをかける。
- (2) SST を使用して、ディファレンシャルケースからテーパーローラーベアリング 2 個を取りはずす。

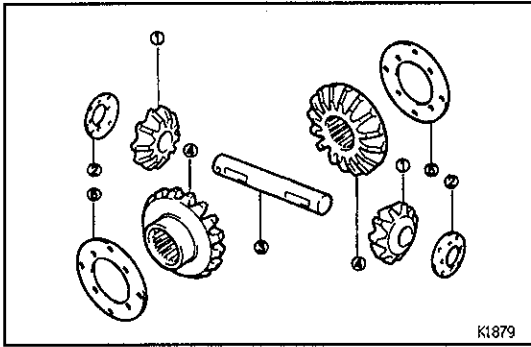
S S T	09952-20010	09954-20011	09955-20012
	09956-20011	09957-20010	09958-30010
	09959-20010		

(参考) ベアリング脱着は、リングギヤを取り付けた状態でできるので、サイドベアリング交換以外は取りはずす必要はない。

14 ディファレンシャルケース分解

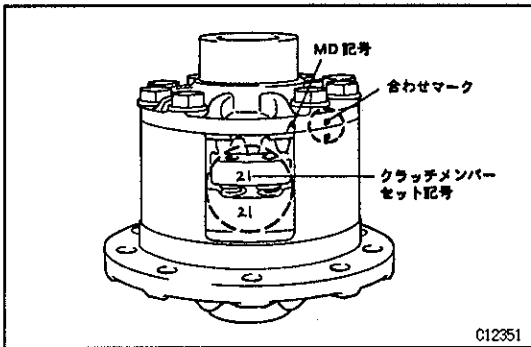
2 ピニオン

- (1) ピンポンチを使用して、ストレートピンを打ち抜く。

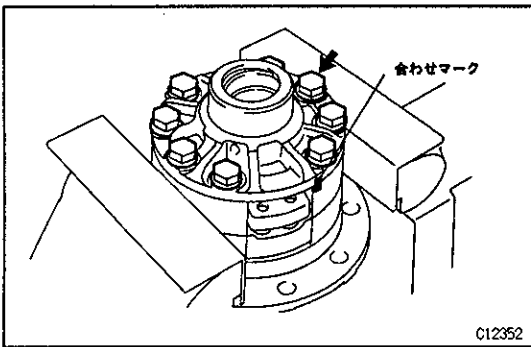


- (2) ディファレンシャルケースから次の部品を取りはずす。
- ① ディファレンシャルピニオン 2個
 - ② ピニオンスラストワッシャー 2枚
 - ③ ディファレンシャルピニオンシャフト
 - ④ ディファレンシャルサイドギヤ 2個
 - ⑤ サイドギヤスラストワッシャー 2枚

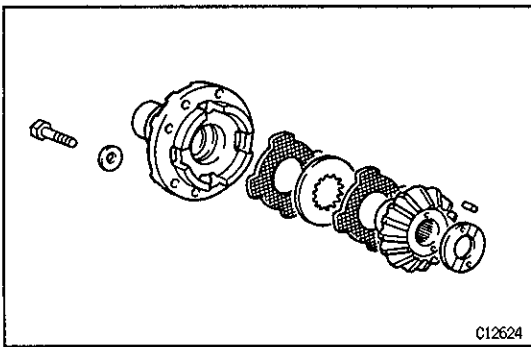
2 ピニオン LSD



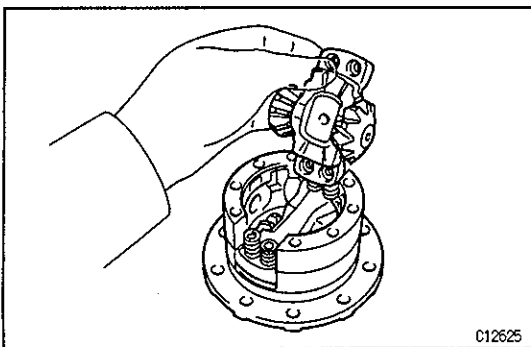
- (1) ディファレンシャルケースとディファレンシャルケースカバーに合わせマークを打つ。
- (2) ディファレンシャルケースカバーの MD 記号およびクラッチメンバー RH, LH のセット記号を確認する。



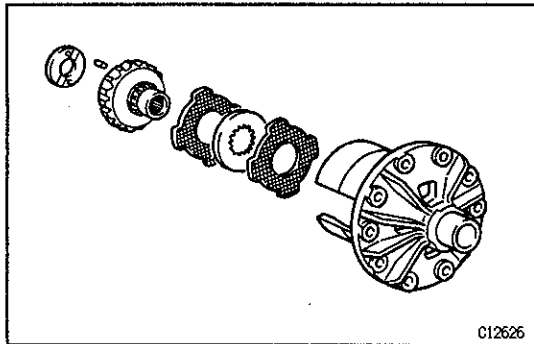
- (3) ボルト 8本をはずし、ディファレンシャルケースカバーを取りはずす。
 (参考) ケースカバーボルトは、プレコートボルトなので分解時ボルトが緩まない場合には、オイルヒーターなどで 150°C 程度に全体を加熱し、ゆるめるとよい。



- (4) ストレートピンおよびクラッチメンバースラストワッシャーを取りはずす。
- (5) サイドギヤ, スラストワッシャー Na.3, スラストワッシャー Na.2 およびスラストワッシャー Na.1 を取りはずす。



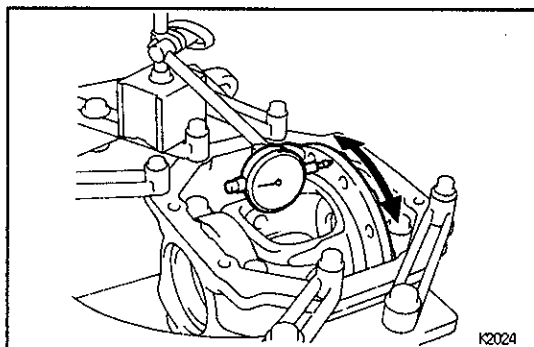
- (6) クラッチメンバー RH ウィズ ピニオンギヤ取りはずし
- (7) クラッチメンバースプリングおよびクラッチメンバー LH 取りはずし



- (8) ストレートピンおよびクラッチメンバースラストワッシャーを取りはずす。
- (9) サイドギヤ, スラストワッシャー-No.3, スラストワッシャー-No.2 およびスラストワッシャー-No.1 を取りはずす。

トルセン LSD

注意 ディファレンシャルケースは非分解である。



ディファレンシャル構成部品の点検および調整

2 ピニオン

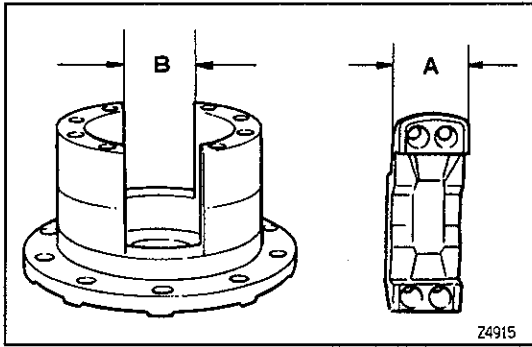
- 1 サイドギヤおよびピニオンギヤの摩耗点検
- 2 ディファレンシャルケースの亀裂, 損傷の有無点検
- 3 ディファレンシャルケースの振れ点検
 - (参考) リングギヤ振れ点検で限度を超えた場合のみ行なう。
 - (1) ディファレンシャルケースをディファレンシャルキャリアに組み付け, ベアリングキャップを組み付ける。
(「ディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け」
- 「サイドベアリングプレロード調整」参照)
 - (2) ディファレンシャルケースの振れを点検する。
限 度 0.07mm
 - (3) ディファレンシャルケースを取りはずす。
(「ディファレンシャルキャリア ASSY 分解」
- 「ディファレンシャルケース ASSY 取りはずし」参照)
 - (4) サイドベアリングを取りはずす。
(「ディファレンシャルキャリア ASSY 分解」
- 「テーパードロローインナーベアリング
(サイドベアリング) 取りはずし」参照)

2 ピニオン LSD

1 部品の点検および交換

(1) 分解した各部品は洗浄し、亀裂、各かん合部の摩耗、損傷、変形および焼き付きなどの不具合がある場合は修正または交換する。

注意 サイドギヤおよびサイドギヤスラストワッシャーNo.2を交換する場合は、それと接触するサイドギヤスラストワッシャーNo.1, No.3も新品と交換する。



2 クラッチメンバー LH およびディファレンシャルケース点検

(1) クラッチメンバー LH とディファレンシャルケースのすき間を点検する。

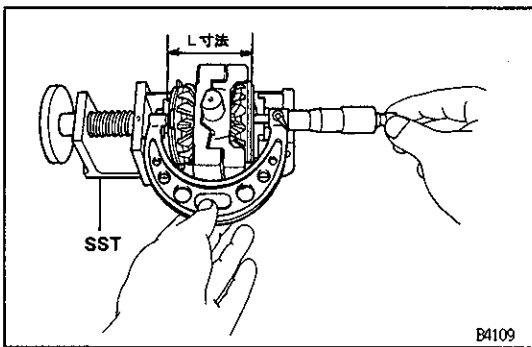
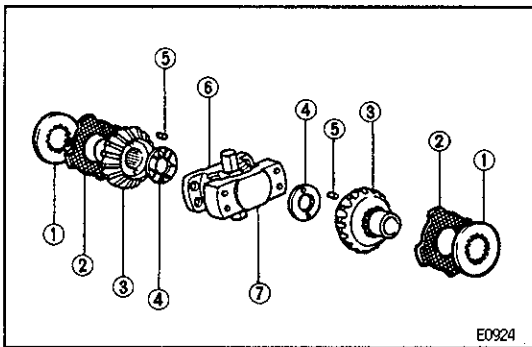
基準値 (mm)

クラッチメンバー LH の幅 A	41.975~42.000
ケースの幅 B	42.000~42.025
クリアランス	0~0.050

3 サイドギヤスラストすき間調整

(1) ディファレンシャルケース内部のサイドギヤ軸方向のすき間をサイドギヤスラストワッシャーNo.1の選択により調整する。

基準値 MD 寸法-L 寸法 = 0~0.17mm



(2) SST を使用して、次の部品を組み合わせる。

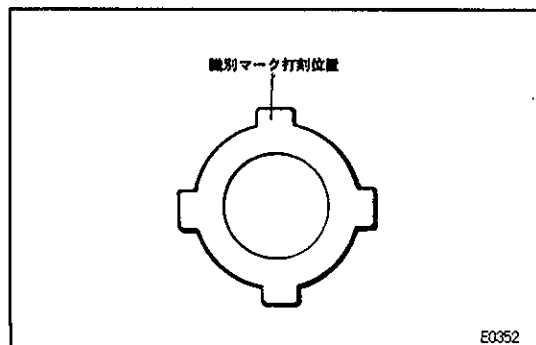
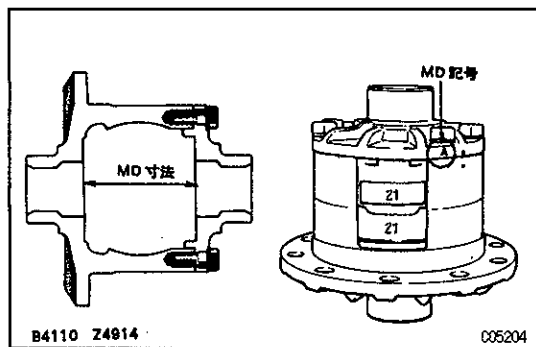
- ① サイドギヤスラストワッシャーNo.2
- ② サイドギヤスラストワッシャーNo.3
- ③ サイドギヤ
- ④ クラッチメンバースラストワッシャー
- ⑤ ストレートピン
- ⑥ クラッチメンバー RH
- ⑦ クラッチメンバー LH

SST 09411-22011

注意 サイドギヤスラストワッシャーNo.1とコンプレッションスプリングは組み付けない。

(3) SST のナットをゆるめスプリングで保持させる。(スプリングの圧着力は約 10kg)

(4) 測定部品を十分センターリングさせマイクロメーターで数回測定し、その平均値を L 寸法とする。



- (5) MD 寸法 (マウンティングディスタンス) は表のように分類され、ケースおよびケースカバーの合わせマークをかねて A~E の記号が打刻されている。

(参考) MD 寸法と MD 記号

MD 記号	MD 寸法 (mm)
A	74.98~75.01
B	75.02~75.04
C	75.05~75.07
D	75.08~75.10
E	75.11~75.13

- (6) L 寸法と MD 寸法をスラストワッシャー No.1 選択表にあてはめて、サイドギヤスラストワッシャー No.1 を選択する。

注意 選択したワッシャーの厚さが異なる場合は厚い方をリングギヤ側に使用する。

(参考) スラストワッシャー No.1 の種類

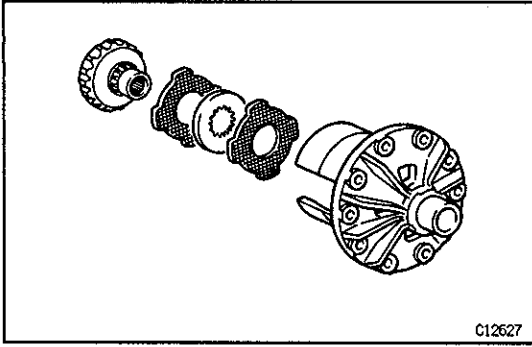
品番	識別マーク	厚さ (mm)
41361-28130	A	1.74~1.78
41361-28140	B	1.78~1.82
41361-28150	C	1.82~1.86
41361-28160	D	1.86~1.90
41361-28170	E	1.90~1.94
41361-28180	F	1.94~1.98
41361-28190	G	1.98~2.02
41361-28200	H	2.02~2.06
41361-28210	J	2.06~2.10
41361-28220	K	2.10~2.14

・スラストワッシャー№1 選択表

(mm)

MD	記号	A	B	C	D	E
L寸法	寸法	74.98~75.01	75.02~75.04	75.05~75.07	75.08~75.10	75.11~75.13
70.81~70.84						ⓐ+ⓐ
70.85~70.87				ⓑ+ⓑ	ⓓ+ⓓ	
70.88~70.90				ⓑ+ⓑ		
70.91~70.93						
70.94~70.96				ⓒ+ⓒ		
70.97~70.99				ⓒ+ⓒ		
71.00~71.02				ⓓ+ⓓ		
71.03~71.05						
71.06~71.08				ⓓ+ⓓ		
71.09~71.11				ⓔ+ⓔ		
71.12~71.14				ⓔ+ⓔ		
71.15~71.17						
71.18~71.20				ⓓ+ⓓ		
71.21~71.23				ⓓ+ⓓ		
71.24~71.26				ⓒ+ⓒ		
71.27~71.29				ⓒ+ⓒ		
71.30~71.32						
71.33~71.35				ⓑ+ⓑ		
71.36~71.38				ⓑ+ⓑ		
71.39~71.41		ⓐ+ⓐ	ⓐ+ⓐ			

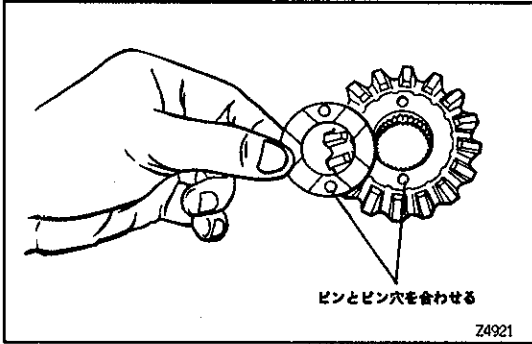
注: ○内の英字がスラストワッシャー№1の識別マークを示す。



- (7) 選択したスラストワッシャーNo.1の油溝がない面、または、油溝のピッチが大きい面をディファレンシャルケース側に向けて組み付ける。

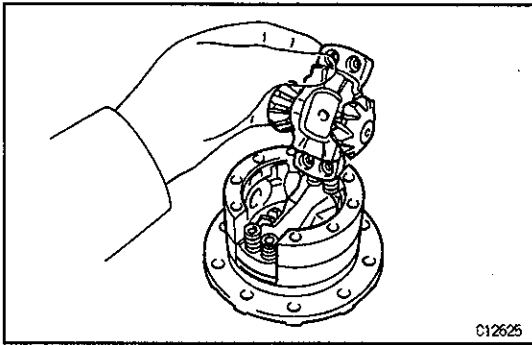
注意 異なった厚さのスラストワッシャーを選択した場合は、厚いものをディファレンシャルケース側に組み付ける。

- (8) スラストワッシャーNo.2, No.3およびサイドギヤをディファレンシャルケースに組み付ける。



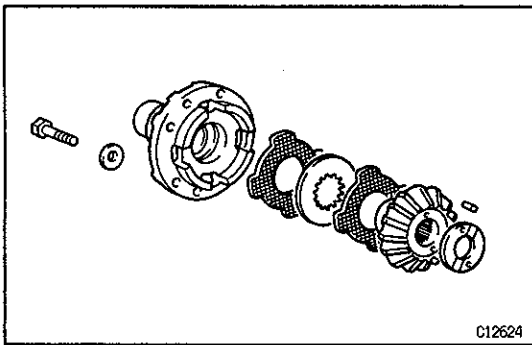
- (9) クラッチメンバースラストワッシャーの油溝のない面をサイドギヤ側に向け、ストレートピン穴を合わせて組み付け、ストレートピンを挿入する。

- (10) クラッチメンバー LH をディファレンシャルケースに組み付ける。



- (11) クラッチメンバー RH にピニオンギヤを組み付け、ディファレンシャルケースに組み付ける。

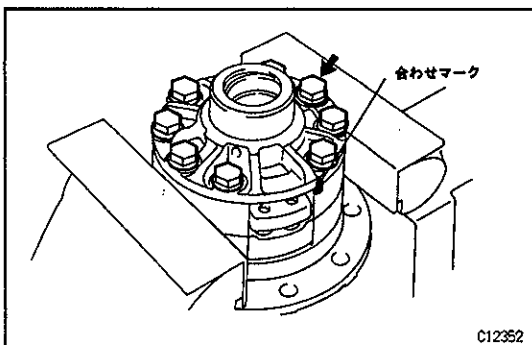
注意 クラッチメンバースプリングは組み付けない。



- (12) 選択したスラストワッシャーNo.1の油溝がない面、または、油溝のピッチが大きい面をディファレンシャルケースカバー側に向けて組み付ける。

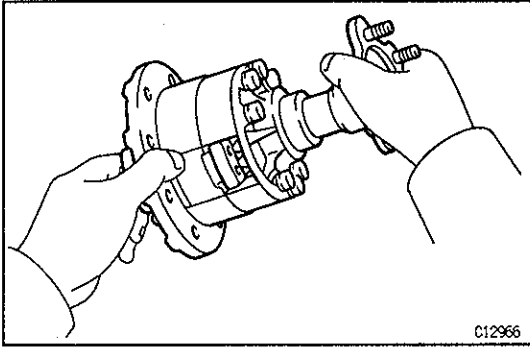
- (13) スラストワッシャーNo.2, No.3およびサイドギヤを組み付ける。

- (14) クラッチメンバースラストワッシャーの油溝のない面をサイドギヤ側に向け、ストレートピン穴を合わせて組み付け、ストレートピンを挿入する。



- (15) ディファレンシャルケースとカバーの合わせマークを一致させてボルト8本を締め付ける。

T=650kg·cm

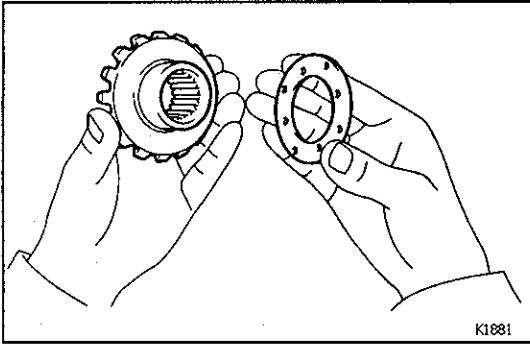


(16) スナップリングを取りはずした状態のサイドギヤシャフトを使用して、サイドギヤがスムーズに回ることを点検する。サイドギヤがスムーズに回らない場合は、再度スラストワッシャーNo.1を選択する。

4 リミテッドスリップディファレンシャルケース分解

〔リミテッドスリップディファレンシャル〕-

〔リミテッドスリップディファレンシャルケース分解〕参照



ディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け

70019709

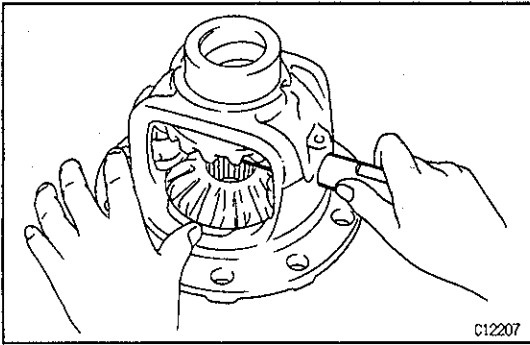
1 ディファレンシャルケース組み付け

2 ピニオン

- **注意** ・スラストワッシャー、サイドギヤ、ピニオンなどの組み付け時には、ゴミ、切り粉などの付着がないことを確認する。
- ・各摺動部、回転部にキヤッスル・ハイポイドギヤオイル SX を十分に塗布する。

- (1) サイドギヤにスラストワッシャーを組み付ける。
- (2) サイドギヤ（ワッシャー付き）、ピニオンギヤ、ピニオンシャフトおよびピニオンスラストワッシャーを組み付ける。

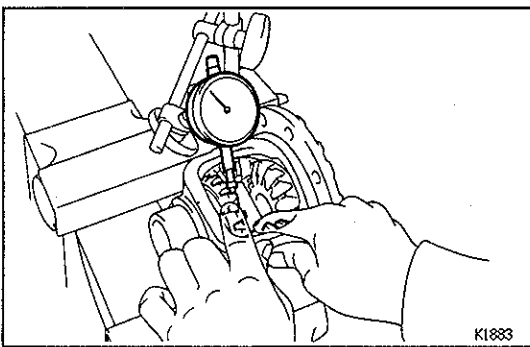
● **注意** ピニオンシャフトの固定用穴とケースの穴を合わせる。



- (3) サイドギヤのバックラッシュが基準値内になり、かつスムーズに回るよう左右両側とも同じサイズのスラストワッシャーを次項より選択し調整する。

ピニオンをディファレンシャルケースの方へ固定し、バックラッシュを点検する。

基準値 0.05~0.20mm



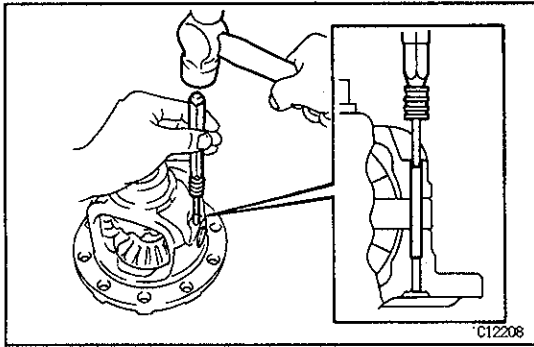
12

7.5 インチ	
品 番	厚 さ (mm)
41361 - 30040	0.96 ~ 1.04
41361 - 30050	1.06 ~ 1.14
41361 - 30060	1.16 ~ 1.24
41361 - 30070	1.26 ~ 1.34

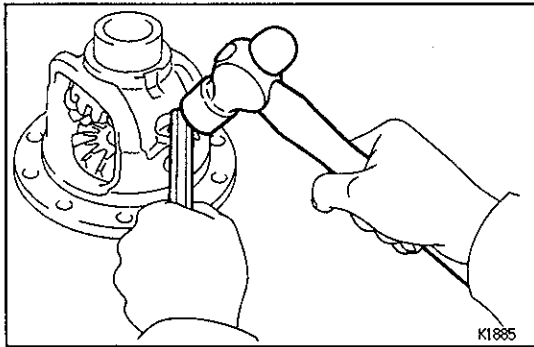
〈参考〉 スラストワッシャーの種類

8 インチ	
品 番	厚 さ (mm)
41361 - 40021	1.58 ~ 1.62
41362 - 40021	1.68 ~ 1.72
41363 - 40021	1.78 ~ 1.82

JA2488



C12208



K1885

(4) ピンポンチを使用して、ストレートピンをリングギヤの歯面側から打ち込む。

(5) タガネを使用して、ディファレンシャルケースのピン穴外周をかしめる。

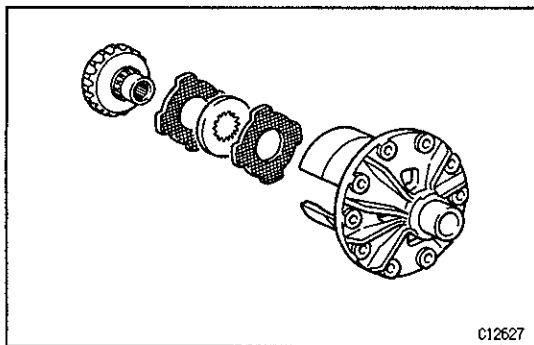
2 ピニオン LSD

- 注意**
- ・ディファレンシャルケース、ケースカバーおよびボルトを白ガソリンなどを使用して洗浄し、エアを吹きかけ乾燥させる。
 - ・組み付け前に摺動面、回転部にキヤッスル・ハイポイドギヤオイルLSDを塗布する。

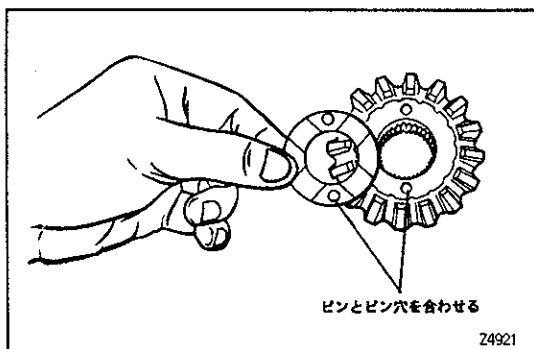
(1) 選択したスラストワッシャーNo.1の油溝がない面、または、油溝のピッチが大きい面をディファレンシャルケース側に向けて組み付ける。

- 注意**
- 異なる厚さのスラストワッシャーを選択した場合は、厚いものをディファレンシャルケース側に組み付ける。

(2) スラストワッシャーNo.2, No.3およびサイドギヤをディファレンシャルケースに組み付ける。



C12627



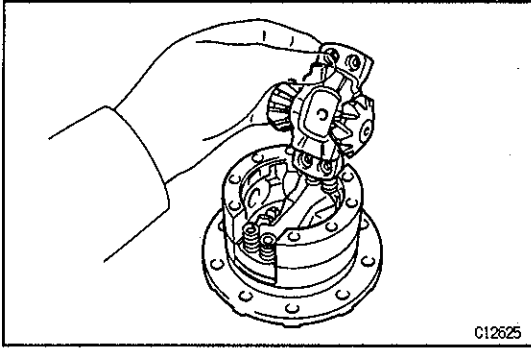
ピンとピン穴を合わせる

Z4921

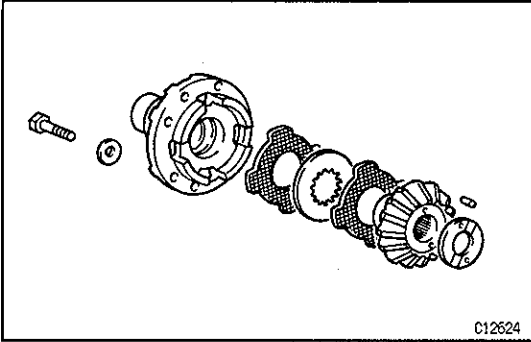
(3) クラッチメンバースラストワッシャーの油溝のない面を、サイドギヤ側に向け、ストレートピン穴を合わせて組み付け、ストレートピンを挿入する。

(4) クラッチメンバー LH をディファレンシャルケースに組み付ける。

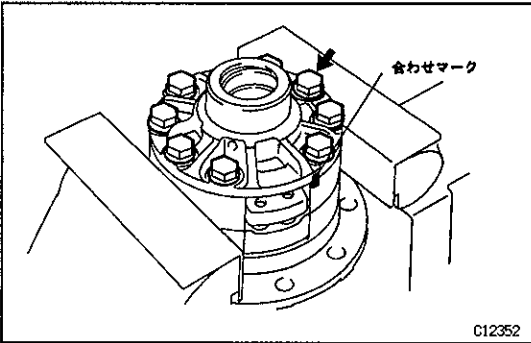
(5) クラッチメンバースプリングをクラッチメンバー LH に取り付ける。



- (6) クラッチメンバー RH にピニオンギヤを組み付け、ディファレンシャルケースに組み付ける。



- (7) 選択したスラストワッシャーNo.1の油溝がない面、または、油溝のピッチが大きい面をディファレンシャルケースカバー側に向けて組み付ける。
 (8) スラストワッシャーNo.2, No.3, サイドギヤを組み付ける。
 (9) クラッチメンバースラストワッシャーの油溝のない面をサイドギヤ側に向け、ストレートピン穴を合わせて組み付けストレートピンを挿入する。
 (10) ディファレンシャルケースカバー取り付けボルトにアドヘシブ1324を塗布する。

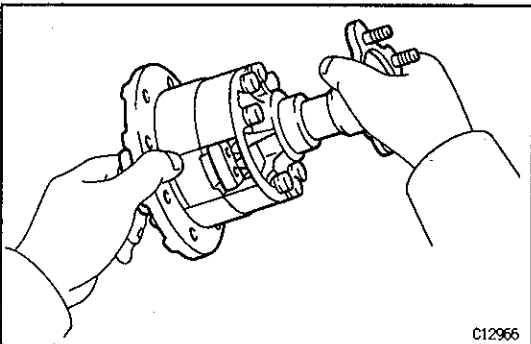


- (11) ディファレンシャルケースとカバーの合わせマークを一致させてボルト8本を締め付ける。

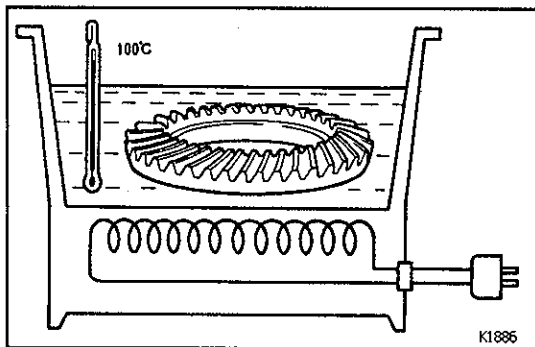
T=650kg・cm

- (12) ボルト締め付け後、3時間以上放置する。

注意 環境温度が15℃以下の場合は30～50℃に加熱後、放置する。



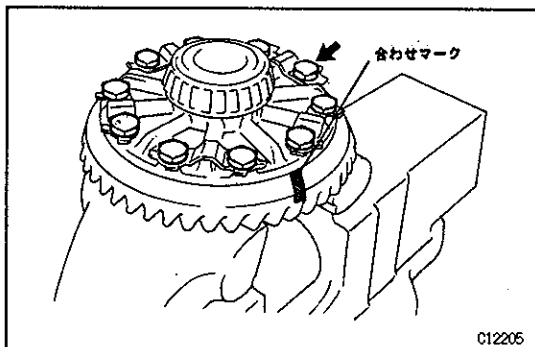
- (13) スナップリングを取りはずした状態のサイドギヤシャフトを使用して、サイドギヤがスムーズに回ることを点検する。サイドギヤがスムーズに回らない場合は、再度スラストワッシャーNo.1を再選択する。



2 リングギヤ組み付け

- (1) リングギヤを熱湯などで100°Cに加熱する。
注意 リングギヤは100°C以上に加熱させない。
- (2) リングギヤとディファレンシャルケースの合わせ面の油脂、水分を十分清掃する
- (3) ディファレンシャルケースとリングギヤの合わせマークを合わせて、リングギヤを素早く組み付ける。

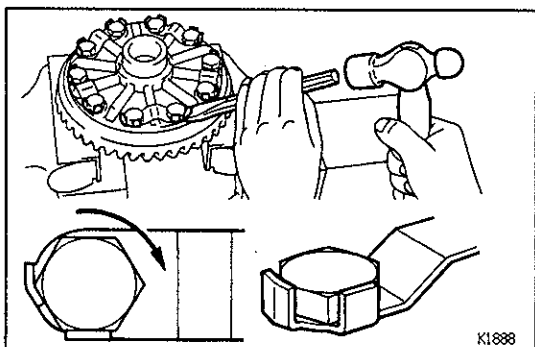
注意 ディファレンシャルケースのボルト穴とリングギヤのねじ穴を合わせる。



- (4) 新品のロックプレート5個を介して、セットボルト10本を規定トルクで締め付ける。

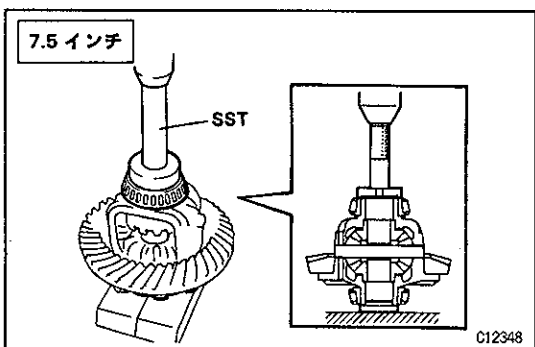
T=985kg·cm

注意 ボルトは、対角線に相対する順に行い、数回に分けて締め付ける。



- (5) タガネを使用して、ロックプレートのツメを起し回り止めをする。

注意 ボルトの2面幅に接触するツメは、2面幅部と密着するまで折り曲げること。またボルトの山部と接触してツメ部が2分割になる場合は、ボルトの締め側を密着させる。



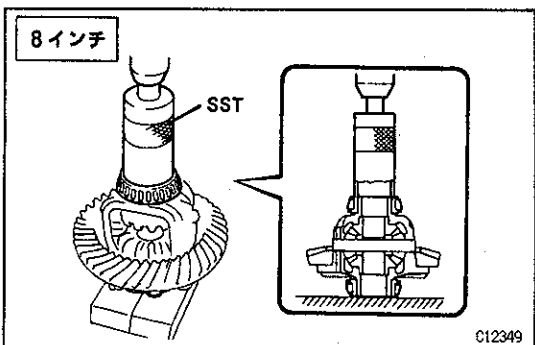
3 テーパーローラーインナーベアリング (サイドベアリング) 組み付け

7.5 インチ

- (1) SSTおよびプレスを使用して、ディファレンシャルケースにテーパーローラーベアリングを圧入する。

S S T 09252-10010 09557-10010 09558-10010

注意 ・SSTをディファレンシャルケースの中心に合わせる。
 ・ベアリング交換時は、ベアリングアウターレースも交換する。

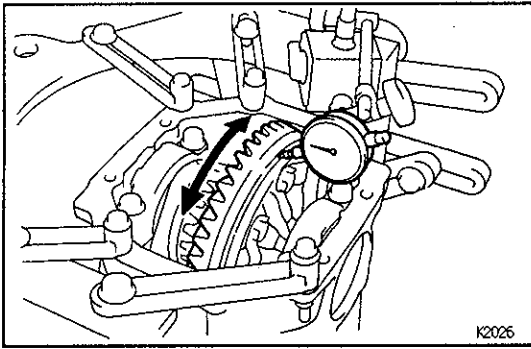


8 インチ

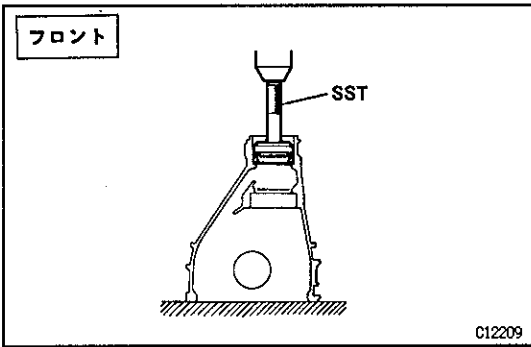
- (1) SSTおよびプレスを使用して、ディファレンシャルケースにテーパーローラーベアリングを圧入する。

S S T 09316-00010

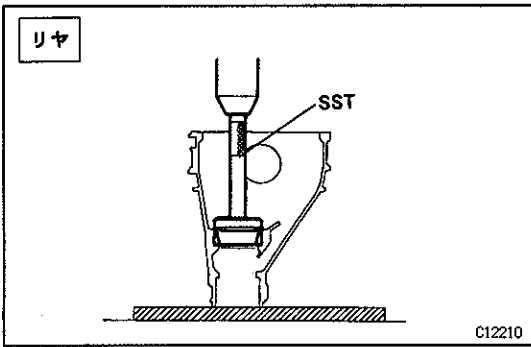
注意 ・SSTをディファレンシャルケースの中心に合わせる。
 ・ベアリング交換時は、ベアリングアウターレースも交換する。



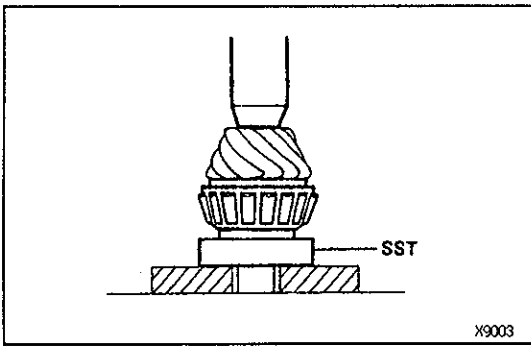
K2026



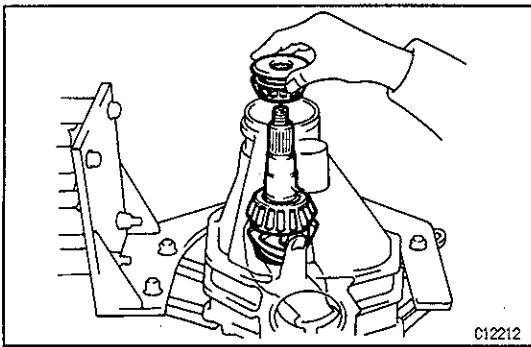
C12209



C12210



X9003



C12212

4 リングギヤ振れ点検

- (1) ディファレンシャルケースをキャリアに取り付け、ベアリングにガタがない程度にプレートワッシャーを取り付ける。

(「ディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け」

— 「リングギヤバックラッシュ調整」参照)

注意 左右のベアリングアウターレースを間違えないように組み付ける。

- (2) ベアリングキャップを組み付ける。

(「ディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け」

— 「サイドベアリングプレロード調整」参照)

- (3) リングギヤの背面の振れをダイヤルゲージで点検する。

限度 0.07mm

- (4) ディファレンシャルケースを取りはずす。

(「ディファレンシャルキャリア ASSY 分解」

— 「ディファレンシャルキャリア ASSY 取りはずし」参照)

5 フロントおよびリヤドライブピニオンベアリングアウターレース組み付け

- (1) SST およびプレスを使用して、ベアリングアウターレースを圧入する。

S S T	09608-06020	09608-06110	フロント
	09608-06020	09608-06120	リヤ 7.5 インチ
	09608-06020	09608-06180	リヤ 8 インチ

6 テーパーローラーインナーベアリング (リヤベアリング) 組み付け

- (1) ドライブピニオンにプレートワッシャーを組み付ける。

〈参考〉 ワッシャーは取りはずし前と同じ厚さのものを組み付けておく。

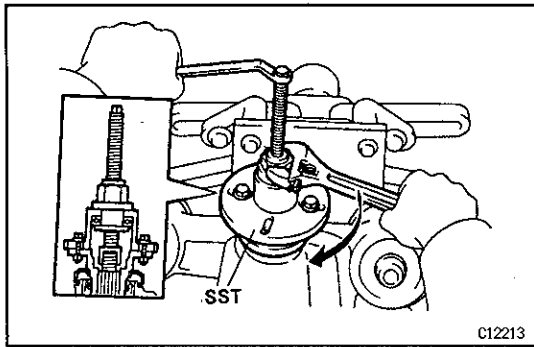
- (2) SST およびプレスを使用して、ドライブピニオンにテーパーローラーインナーベアリングを圧入する。

S S T 09508-30012

7 ドライブピニオンプレロード仮調整

- (1) ディファレンシャルキャリアにドライブピニオン、テーパーローラーインナーベアリング (フロントベアリング) およびドライブピニオンオイルスリンガーを組み付ける。

注意 リングギヤの歯当り点検のため、スペーサーおよびオイルシールは組み付けず、歯当り点検、調整後に組み付ける。

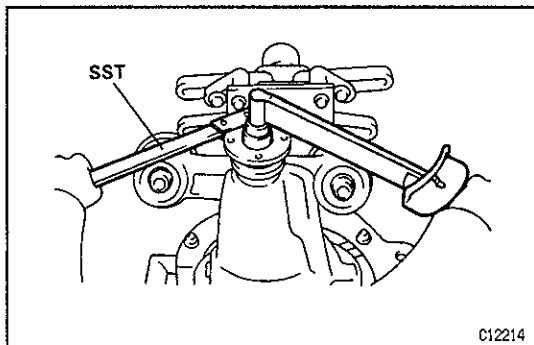


(2) SST を使用して、コンパニオンフランジを取り付ける。

S S T 09557-22022 09557-22030 (7.5 インチ)

09557-22022 09557-22050 (8 インチ)

注意 スペーサーを組み付けていないので、コンパニオンフランジはドライブピニオンのガタが少し残る程度まで締め付ける。

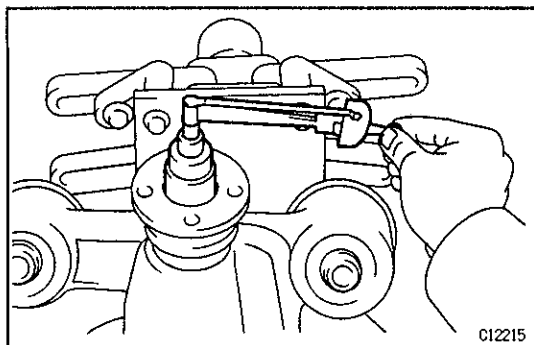


(3) SST を使用して、プレートワッシャーを介して、新品のナットを規定のプレロードになるように少しずつ締め付ける。

S S T 09330-00021

注意 ・ナットとドライブピニオンのねじ部にキャッスル・ハイポイドギヤオイル LSD を塗布する。

・スペーサーが入っていないので、ナットは少しずつ締め付け、絶対に締め過ぎない。



(4) ドライブピニオンの起動トルクを測定する。

基準値 ベアリング新品時 7.5 インチ 11~18kg・cm

8 インチ 10~16kg・cm

ベアリング再使用时 7.5 インチ 5~9 kg・cm

8 インチ 5~8 kg・cm

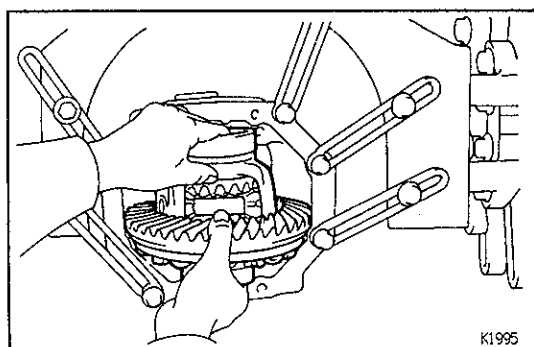
注意 ・ベアリングをなじませるため、正転、逆転を数回行った後測定する。

・総合プレロード測定のため、プレロードを記憶しておく。

8 ディファレンシャルケース組み付け

(1) テーパーローラーインナーベアリングの左右のベアリングアウターレースを間違えないように組み付ける。

(2) ディファレンシャルケースをキャリアに組み付ける。



9 リングギヤバックラッシュ調整

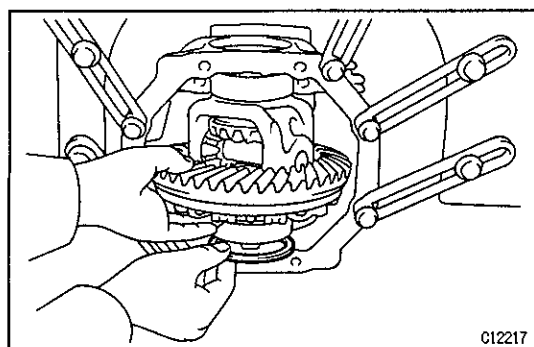
(1) リングギヤ背面側にリングギヤのバックラッシュがほぼ基準値内に入るようなプレートワッシャーを選択して取り付ける。

基準値 0.13~0.18mm (除く 1 JZ-GE)

0.10~0.15mm (1 JZ-GE)

参考 ・サイドベアリングが新品の場合は、プレートワッシャーを厚さの薄いものから選択して取り付ける。

・サイドベアリングが再使用の場合は、プレートワッシャーを分解前と同じ厚さのものから取り付ける。



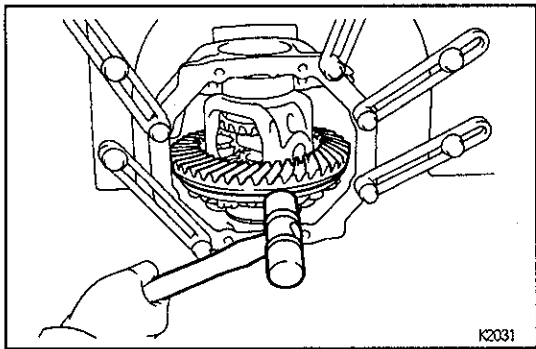
・プレートワッシャーの種類

7.5 インチ

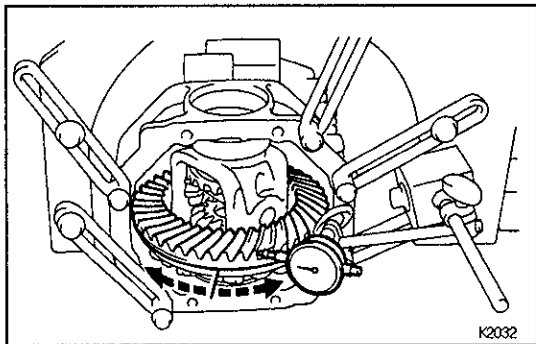
品番	厚さ (mm)	品番	厚さ (mm)	品番	厚さ (mm)	品番	厚さ (mm)
90201-65007	2.57~2.59	90201-65013	2.75~2.77	90201-65019	2.93~2.95	90201-65025	3.11~3.13
90564-65001	2.59~2.61	90564-65007	2.77~2.79	90564-65013	2.95~2.97	90564-65019	3.13~3.15
90564-65002	2.61~2.63	90564-65008	2.79~2.81	90564-65014	2.97~2.99	90564-65020	3.15~3.17
90201-65009	2.63~2.65	90201-65015	2.81~2.83	90201-65021	2.99~3.01	90201-65027	3.17~3.19
90564-65003	2.65~2.67	90564-65009	2.83~2.85	90564-65015	3.01~3.03	90564-65021	3.19~3.21
90564-65004	2.67~2.69	90564-65010	2.85~2.87	90564-65016	3.03~3.05	90564-65022	3.21~3.23
90201-65011	2.69~2.71	90201-65017	2.87~2.89	90201-65023	3.05~3.07	90201-65029	3.23~3.25
90564-65005	2.71~2.73	90564-65011	2.89~2.91	90564-65017	3.07~3.09		
90564-65006	2.73~2.75	90564-65012	2.91~2.93	90564-65018	3.09~3.11		

8 インチ

品番	識別マーク	厚さ (mm)	品番	識別マーク	厚さ (mm)
90201-52001	01	2.57~2.59	90564-46029	47	3.03~3.05
90564-46014	32	2.59~2.61	90201-52017	17	3.05~3.07
90564-46015	33	2.61~2.63	90564-46030	48	3.07~3.09
90201-52003	03	2.63~2.65	90564-46031	49	3.09~3.11
90564-46016	34	2.65~2.67	90201-52019	19	3.11~3.13
90201-46017	35	2.67~2.69	90564-46032	50	3.13~3.15
90201-52005	05	2.69~2.71	90564-46033	51	3.15~3.17
90564-46018	36	2.71~2.73	90201-52021	21	3.17~3.19
90564-46019	37	2.73~2.75	90564-46034	52	3.19~3.21
90201-52007	07	2.75~2.77	90564-46035	53	3.21~3.23
90564-46020	38	2.77~2.79	90201-52023	23	3.23~3.25
90564-46021	39	2.79~2.81	90564-46036	54	3.25~3.27
90201-52009	09	2.81~2.83	90564-46037	55	3.27~3.29
90564-46022	40	2.83~2.85	90201-52025	25	3.29~3.31
90564-46023	41	2.85~2.87	90564-46038	56	3.31~3.33
90201-52011	11	2.87~2.89	90564-46039	57	3.33~3.35
90564-46024	42	2.89~2.91	90201-52027	27	3.35~3.37
90564-46025	43	2.91~2.93	90564-46040	58	3.37~3.39
90201-52013	13	2.93~2.95	90564-46041	59	3.39~3.41
90564-46026	44	2.95~2.97	90201-52029	29	3.41~3.43
90564-46027	45	2.97~2.99	90564-46042	60	3.43~3.45
90201-52015	15	2.99~3.01	90564-46043	61	3.45~3.47
90564-46028	46	3.01~3.03	90201-52031	31	3.47~3.49



- (2) プラスチックハンマーを使用して、リングギヤを軽くたたき、ベアリングとワッシャーを十分に落ち着かせる。

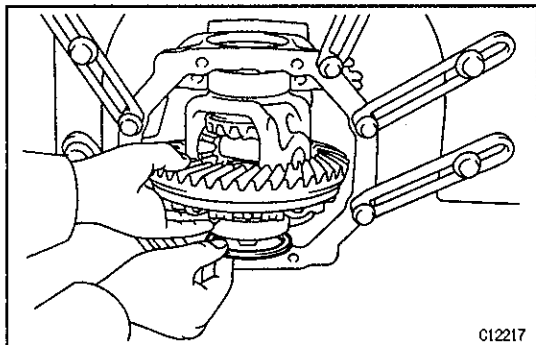


- (3) ダイヤルゲージをリングギヤの歯面先端に直角に当て、コンパニオンフランジを固定し、リングギヤを動かしバックラッシュを点検する。

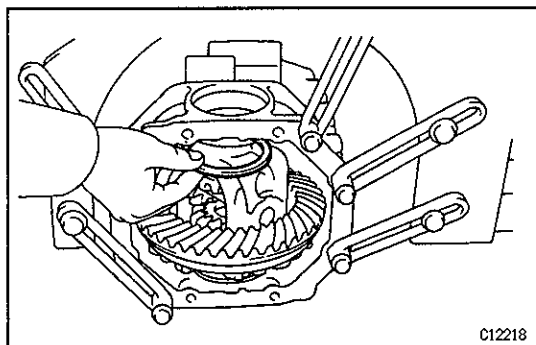
参考値 0.13mm (除く 1JZ-GE)

0.10mm (1JZ-GE)

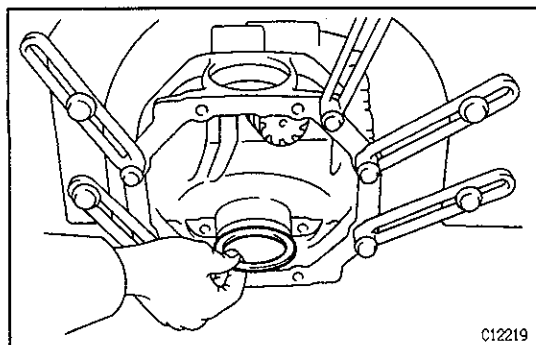
注意 リングギヤは円周上の3箇所以上で測定する。



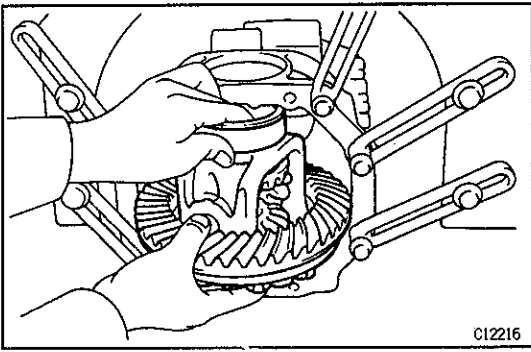
- (4) リングギヤのバックラッシュが参考値付近になるようなプレートワッシャーを表より選択して、リングギヤ背面側に取り付ける。



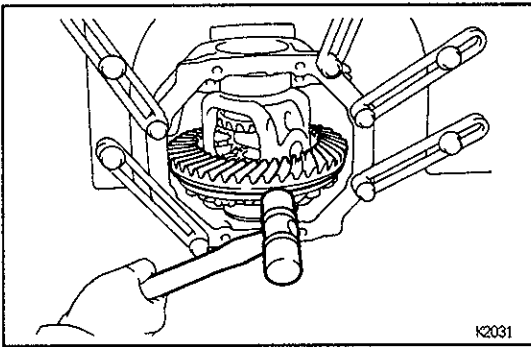
- (5) リングギヤ歯面側のサイドベアリングアウターレース端面とキャリアのすき間が0か、0に近いプレートワッシャーを指で十分奥まで挿入し、そのうち一番厚いものを選択する。



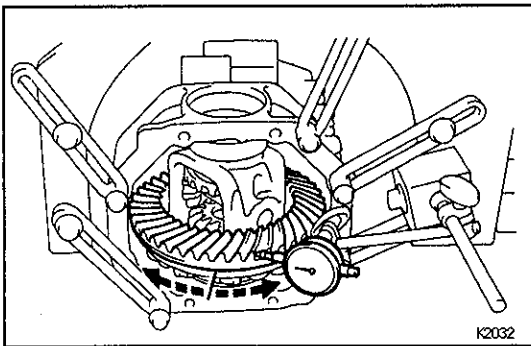
- (6) ディファレンシャルケースとプレートワッシャーを取りはずす。
(7) リングギヤ背面側のプレートワッシャーをキャリアに据え付ける。



- (8) リングギヤ歯面側のプレートワッシャーをディファレンシャルケースのサイドベアリングアウターレースに据え付けて、ディファレンシャルケースをキャリアに取り付ける。



- (9) プラスチックハンマーを使用して、リングギヤを軽くたたき、ベアリングを十分落ち着かせる。



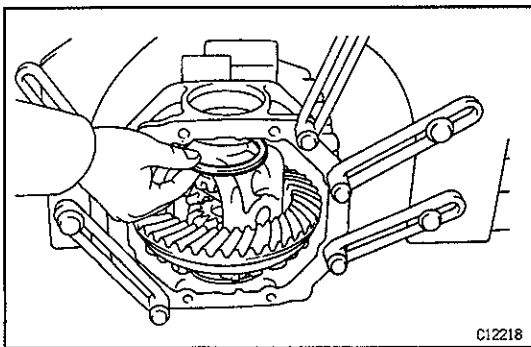
- (10) ダイアルゲージをリングギヤの歯面先端に直角に当て、コンパニオンフランジを固定し、リングギヤを動かしてバックラッシュを点検する。

基準値 0.13~0.18mm (除く 1JZ-GE)

0.10mm~0.15mm (1JZ-GE)

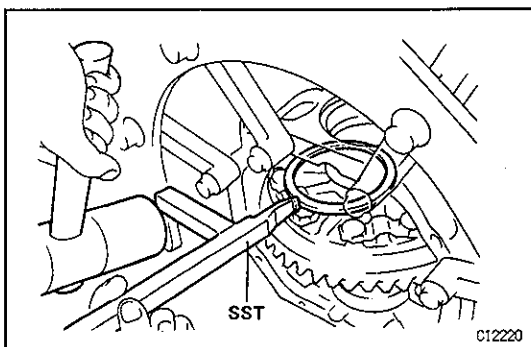
注意 リングギヤは円周上の3箇所以上で測定する。

基準値外の場合は、左右プレートワッシャーの厚さを同量ずつ増減させて基準値内にする。



10 サイドベアリングプレロード調整

- (1) リングギヤのバックラッシュ調整後、リングギヤ歯面側のプレートワッシャーを取りはずす。
 (2) マイクロメーターを使用して、プレートワッシャーの厚さを測定する。



- (3) 取りはずしたプレートワッシャーより 0.06~0.09mm厚いワッシャーを取り付ける。

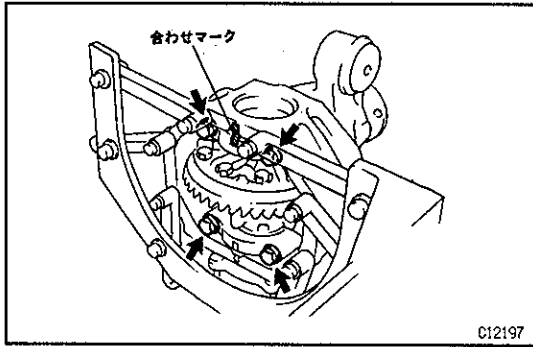
(「ディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け」

—「リングギヤバックラッシュ調整」参照)

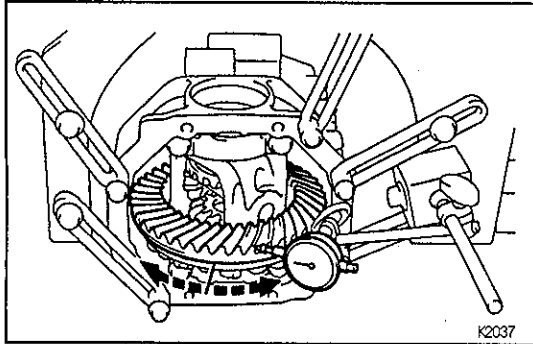
注意 指で2/3程度まで挿入できるワッシャーを取り付ける。

- (4) SSTを使用して、プレートワッシャーを打ち込む。

S S T 09504-22011



- (5) ベアリングキャップとディファレンシャルキャリアの合わせマークを合わせて、ベアリングキャップを組み付ける。
- (6) ベアリングキャップボルト4本を規定トルクで締め付ける。
 $T=870\text{kg}\cdot\text{cm}$



- (7) ダイヤルゲージをリングギヤの歯面先端に直角に当て、コンパニオンフランジを固定し、リングギヤを動かしバックラッシュを点検する。

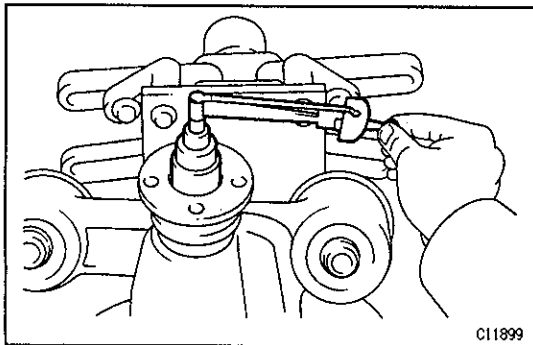
基準値 0.13~0.18mm (除く1JZ-GE)

0.10mm~0.15mm (1JZ-GE)

基準値外の場合は、左右プレートワッシャーの厚さを同量ずつ増減させて基準値内にする。

(「ディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け」

— 「リングギヤバックラッシュ調整」参照)



11 総合プレロード測定

- (1) トルクレンチを使用して、総合プレロードを測定する。ドライブピニオンとリングギヤの歯面を当てた状態で起動トルクを測定する。

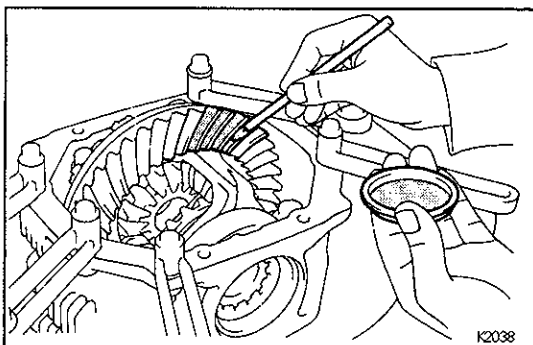
基準値 総合プレロード=ドライブピニオンプレロード

+4~6 kg·cm

基準値外の場合は、リングギヤ歯面側のプレートワッシャー調整する。

(「ディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け」

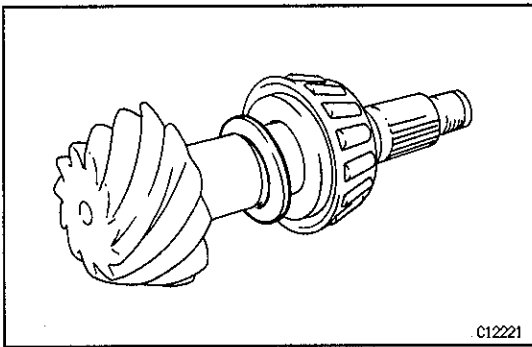
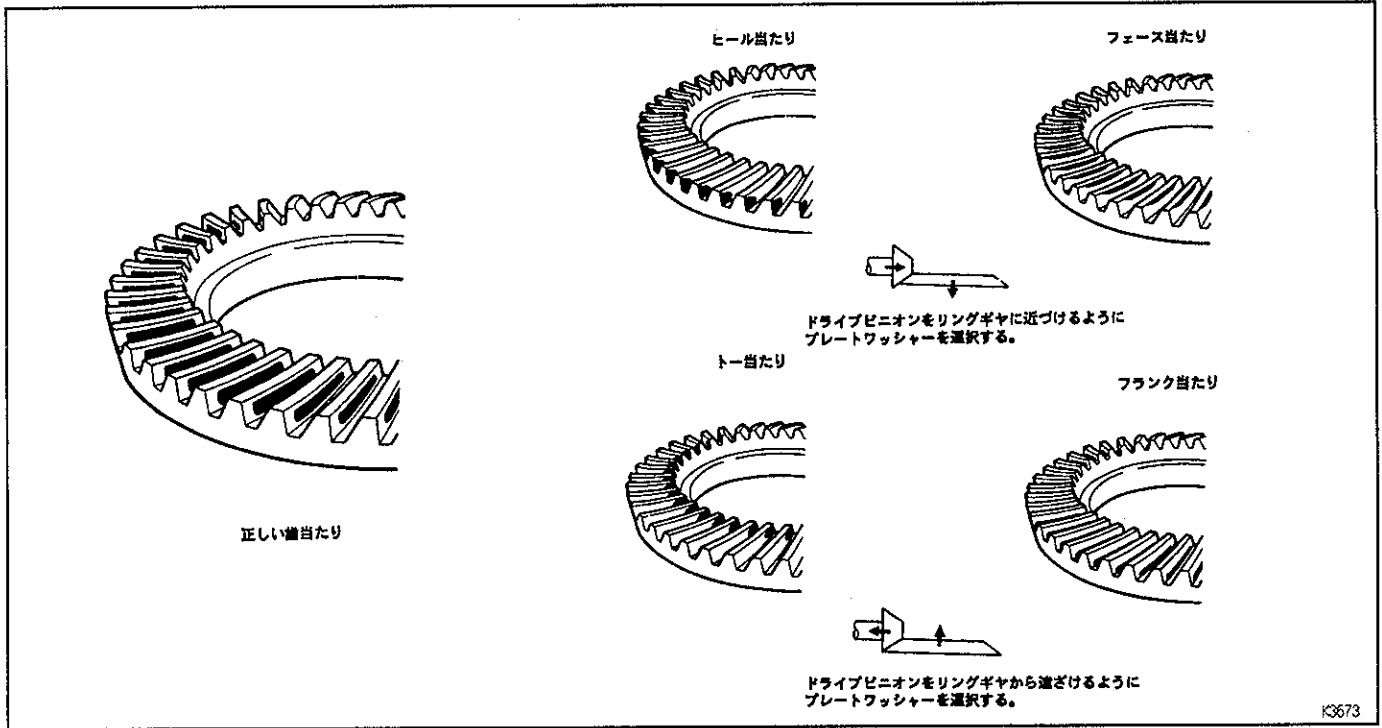
— 「リングギヤバックラッシュ調整」参照)



12 リングギヤとドライブピニオンの歯当り点検

- (1) リングギヤの歯面両側に光明丹を均一に薄く塗布しリングギヤを数回、回転させる。光明丹が示すパターンが歯当り位置である。

注意 リングギヤ円周上4箇所でもり状態を見る。



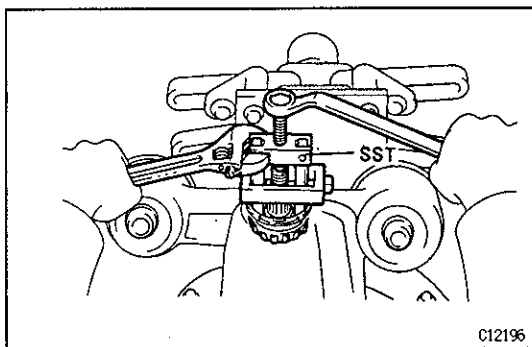
(2) 歯当たりが不良の場合は、ドライブピニオン突き出し量調整用プレートワッシャーを表より選択し再組み付けする。

注意 ・フェイス当り、フランク当りの場合はバックラッシュ基準値内で調整可能な場合もある。

〈参考〉 プレート ワッシャーの種類

品番	厚さ (mm)	品番	厚さ (mm)
90201-35497	1.69~1.71	90201-35508	2.02~2.04
90201-35498	1.72~1.74	90201-35509	2.05~2.07
90201-35499	1.75~1.77	90201-35510	2.08~2.07
90201-35500	1.78~1.80	90201-35511	2.11~2.13
90201-35501	1.81~1.83	90201-35512	2.14~2.16
90201-35502	1.84~1.86	90201-35513	2.17~2.19
90201-35503	1.87~1.89	90201-35514	2.20~2.22
90201-35504	1.90~1.92	90201-35515	2.23~2.25
90201-35505	1.93~1.95	90201-35516	2.26~2.28
90201-35506	1.96~1.98	90201-35517	2.29~2.31
90201-35507	1.99~2.01	90201-35518	2.32~2.34

12



13 ナットおよびコンパニオンフランジ取りはずし

(「ディファレンシャルキャリア ASSY 分解」

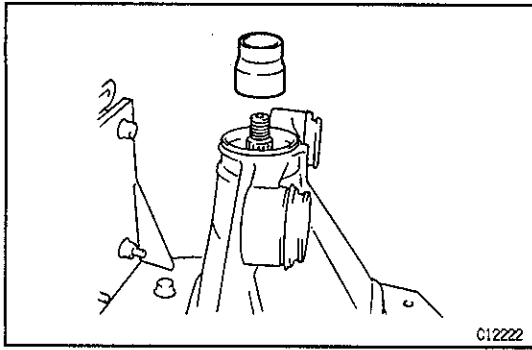
— 「コンパニオンフランジ取りはずし」参照)

14 ドライブピニオンオイルスリンガー取りはずし

15 テーバードローラーインナーベアリング (フロントベアリング) 取りはずし

(1) SST を使用して、テーバードローラーベアリングインナーを取りはずす。

S S T 09556-22010

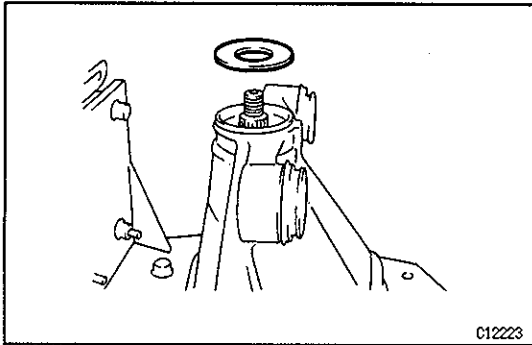


16 ドライブピニオンベアリングスペーサー組み付け

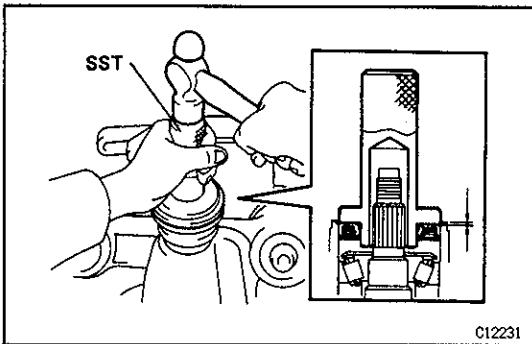
- (1) ドライブピニオンに新品のベアリングスペーサーを組み付ける。

注意 内径の大きい方をフロント側に向ける。

17 テーバードローラーインナーベアリング (フロントベアリング) 組み付け



18 ドライブピニオンオイルスリンガー組み付け



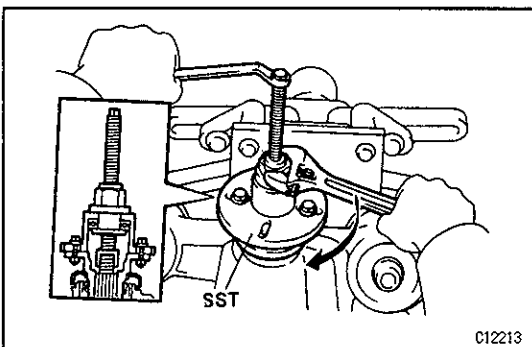
19 オイルシール組み付け

- (1) SST を使用して、新品のオイルシールを打ち込む。

S S T 09554-30011

基準値 オイルシール打ち込み量 (キャリヤ端面から) 1.5mm

- (2) オイルシールリップ部にキャッスル・MP グリースNa2 を塗布する。

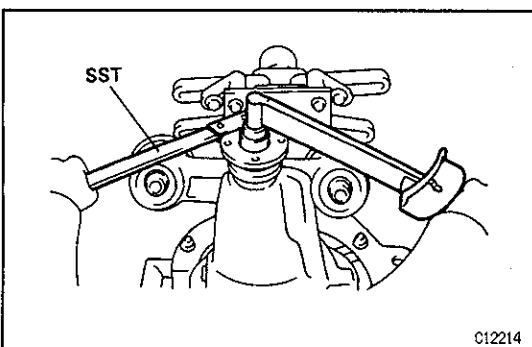


20 コンパニオンフランジ組み付け

- (1) SST を使用して、コンパニオンフランジを取り付ける。

S S T 09557-22022 09557-22030 (7.5 インチ)

09557-22022 09557-22050 (8 インチ)



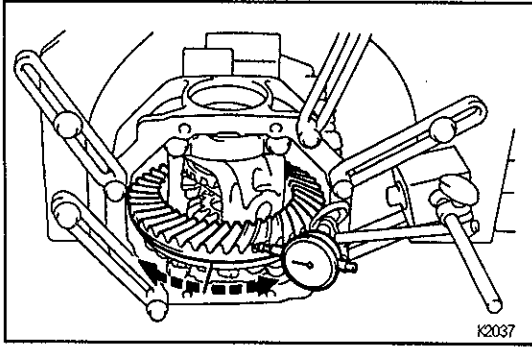
- (2) プレートワッシャーを組み付ける。

- (3) 新品のナットのねじ部にキャッスル・ハイポイドギヤオイル LSD を塗布し SST を使用して、フランジを固定して、規定トルクで締め付ける。

S S T 09330-0021

T=1750kg·cm (7.5 インチ)

T=2650kg·cm (8 インチ)



23 ドライブピニオンとリングギヤのバックラッシュ点検

- (1) ダイアルゲージをリングギヤの歯面先端に直角に当ててドライブピニオンのフランジを固定し、リングギヤを動かして測定する。

基準値 0.13~0.18mm (除く 1JZ-GE)

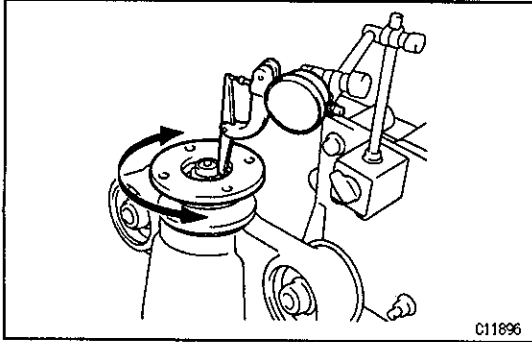
0.10~0.15mm (1JZ-GE)

注意 リングギヤ円周上の3箇所以上で測定する。

24 リングギヤとドライブピニオンの歯当たり点検

(「ディファレンシャルキャリア ASSY 組み付け」

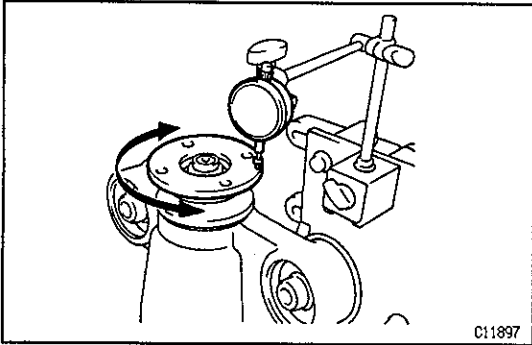
— 「リングギヤとドライブピニオンの歯当たり点検」参照)



25 コンパニオンフランジの振れ点検

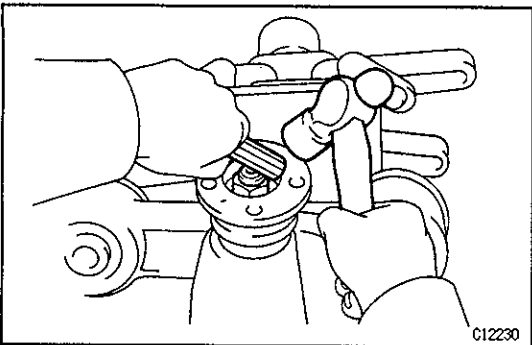
- (1) ダイアルゲージをコンパニオンフランジの内周面に直角に取り付け、コンパニオンフランジの縦振れを測定する。

限度 0.09mm



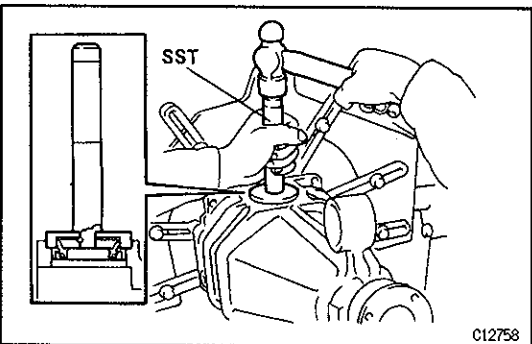
- (2) ダイアルゲージをコンパニオンフランジ面に直角に、またボルト取り付け穴の外側に取り付け、コンパニオンフランジの横振れを測定する。

限度 0.09mm



26 ドライブピニオンナットかしめ

- (1) タガネを使用して、ナットをかしめる。



27 サイドギヤシャフトオイルシール組み付け

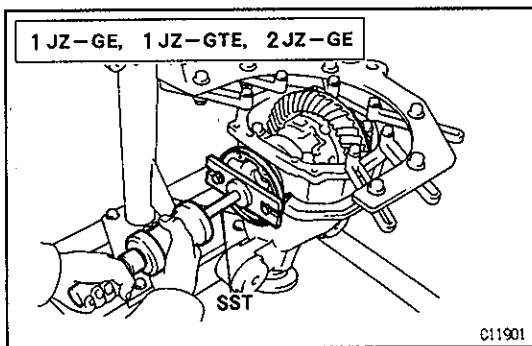
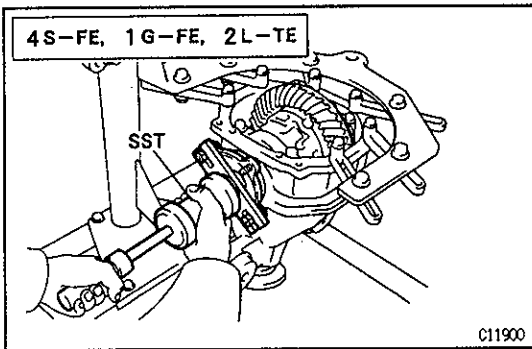
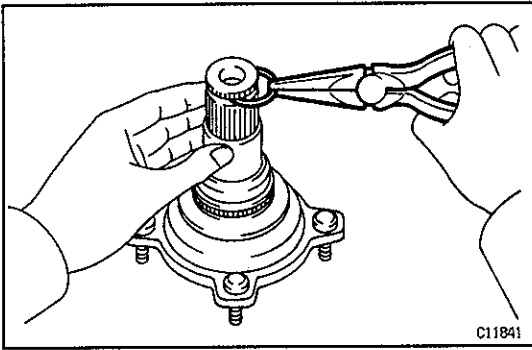
- (1) SST を使用して、新品のオイルシール2個をディファレンシャルキャリア端面と面一になるまで打ち込む。

S S T 09550-00020 09550-00031

- (2) オイルシールリップ部にキャッスル・MP グリースNo.2 を塗布する。

28 サイドギヤシャフト組み付け

- (1) 新品のスナップリングをサイドギヤシャフトに組み付ける。
- (2) スナップリングにキャッスル・MP グリースNa2を塗布する。

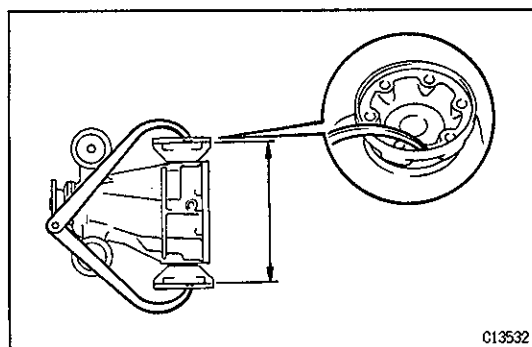
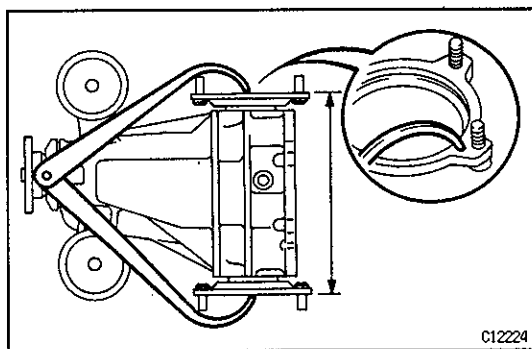


- (3) SSTを使用して、サイドギヤシャフトをディファレンシャルに打ち込む。

S S T 09520-24010

- 注意**
- ・スナップリングの切り口を下向きにして組み付ける。
 - ・挿入時、斜めに打ち込まない。斜めに打ち込んだ場合は、スナップリングを新品に取り替え、再度打ち込む。
 - ・オイルシールを傷つけない。

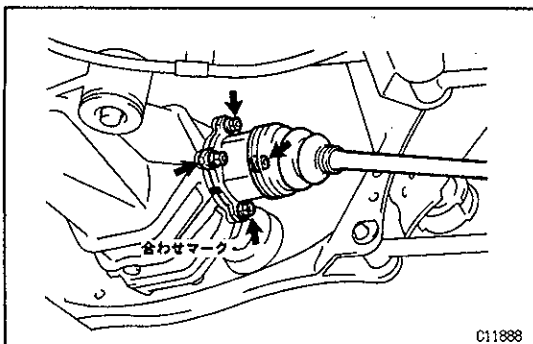
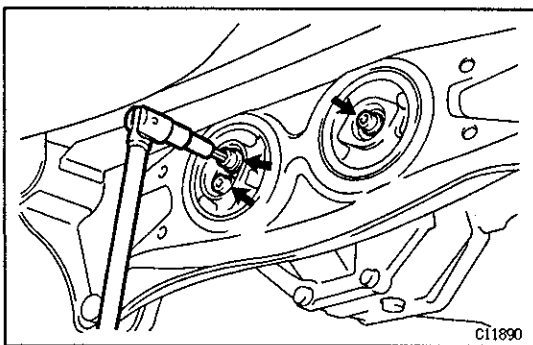
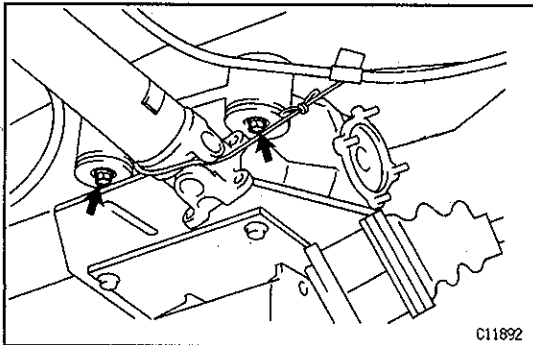
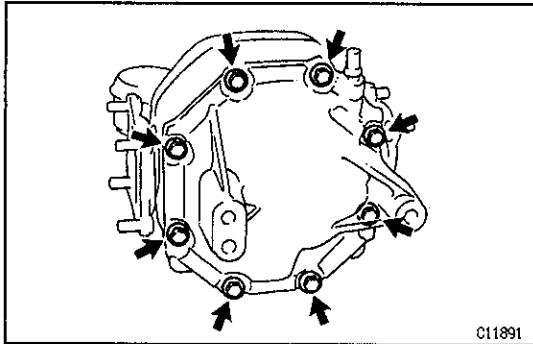
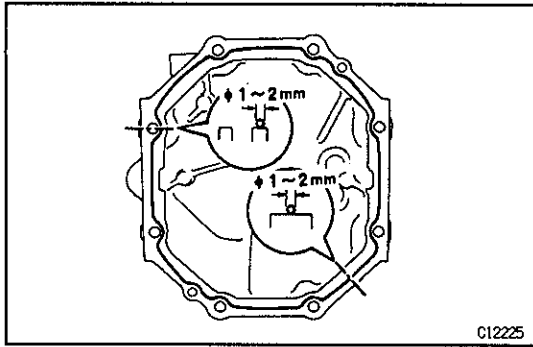
参考 ・打ち込み時、SSTのスライディングハンマーの反発力の変化あるいは音質の変化でピニオンシャフトに当たっていることを判断できる。



・サイドギヤシャフトをディファレンシャルピニオンシャフトに当てた状態にし、サイドギヤシャフトフランジ面を外パスなどで測定する。

参考値

7.5インチ (1JZ-GE)	282.6mm以下
7.5インチ (1G-FE, 2L-TE)	239.5mm以下
7.5インチ (4S-FE)	241.5mm以下
7.5インチ LSD (1G-FE)	239.6mm以下
7.5インチ LSD (4S-FE)	241.6mm以下
8インチ (2ピニオン)	279.1mm以下
8インチ (トルセン LSD)	279.06mm以下



29 ディファレンシャルキャリア ASSY 取りはずし

- (1) ディファレンシャルキャリア ASSY をオーバーホールアタッチメントから取りはずす。

30 ディファレンシャルキャリアカバー組み付け

- (1) ディファレンシャルキャリアおよびキャリアカバーに付着しているシールパッキンをスクレーパーおよびワイヤーブラシを使用して清掃した後、洗浄液などで油分を落とす。

注意 取り付け面を傷つけない。

- (2) 図の位置にシールパッキン 1281 を塗布し、ディファレンシャルキャリアに取り付ける。

注意 ・シールパッキンの塗布φ1~φ2mmで塗布切れしない。

・シールパッキン塗布後、3分以内に組み付ける。

・カバー組み付け後は、すぐにオイルを注入したり、走行したりせず、1時間以上放置する。また、その後12時間以内に急激な加減速を避ける。

- (3) ボルト8本でディファレンシャルキャリアカバーを組み付ける。
T=475kg・cm

ディファレンシャルキャリア ASSY 取り付け

1 ディファレンシャルキャリア ASSY 取り付け

- (1) トランスミッションジャッキでディファレンシャルキャリア ASSY を支持する。

- (2) リヤディファレンシャルマウントアッパーストッパーを介して、ディファレンシャルキャリア ASSY を、リヤディファレンシャルマウントロウストッパーおよびボルト2本で車両に仮締めする。

- (3) ソケットヘキサゴンレンチ 12 を使用して、ボルトで、リヤサスペンションメンバーに取り付ける。

T=1450kg・cm

〈参考〉 ボルト3本……1JZ-GTE, 4S-FE, 2L-TE

ボルト2本……2JZ-GE, 1JZ-GE, 1G-FE

(左側のみ)

- (4) (2)で仮締めしたボルト2本を規定トルクで締め付ける。

T=870kg・cm

- (5) トランスミッションジャッキを取りはずす。

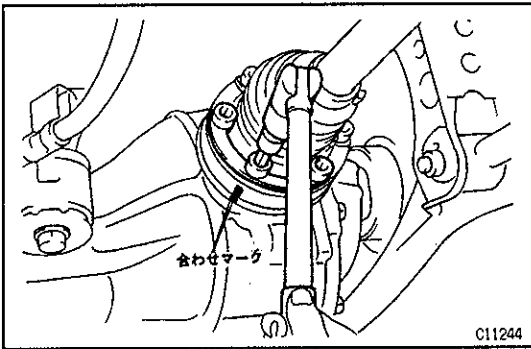
2 ドライブシャフト (左右) 取り付け

4S-FE, 1G-FE, 2L-TE 搭載車

- (1) 合わせマークを合わせて、ワッシャー4枚およびナット4個でドライブシャフトを取り付ける。

T=700kg・cm

1JZ-GE, 1JZ-GTE, 2JZ-GE 搭載車



- (1) 合わせマークを合わせて、プレートワッシャー 2枚を介し、ソケットヘキサゴンレンチを使用して、ボルト 6本を締め付け、ドライブシャフトを取り付ける。

(参考) ヘキサゴンレンチ 8 (1JZ-GE)

ヘキサゴンレンチ 10 (1JZ-GTE, 2JZ-GE)

T=660kg・cm (1JZ-GE)

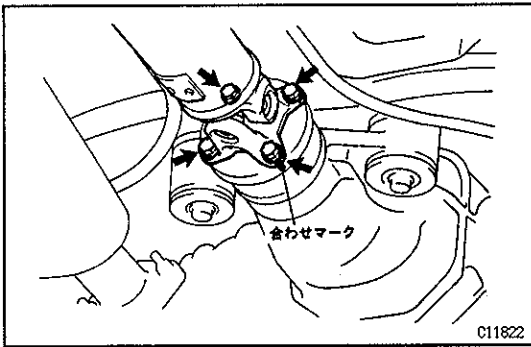
T=850kg・cm (1JZ-GTE, 2JZ-GE)

3 プロペラシャフト取り付け

- (1) 合わせマークを合わせて、プロペラシャフトを取り付ける。

T=750kg・cm (2JZ-GE, 1JZ-GTE, 1JZ-GE, 2L-TE (MT) 車)

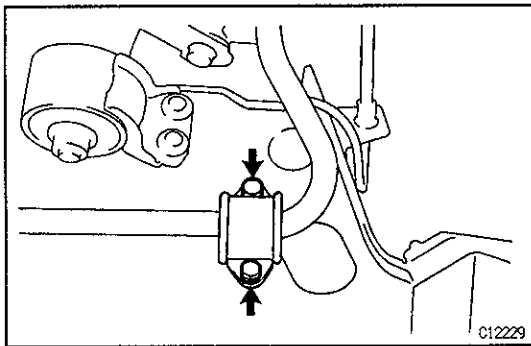
T=380kg・cm (1G-FE, 4S-FE, 2L-TE (AT) 車)



4 リヤスタビライザーバー取り付け (1JZ-GE, 1JZ-GTE 搭載車)

- (1) ボルト 4本でスタビライザーブラケットおよびリヤスタビライザーバーを取り付ける。

T=180kg・cm



- (2) ソケットヘキサゴンレンチ 6 を使用してスタッドを固定し、ナット 2個でリヤスタビライザーバーリンクを取り付ける。

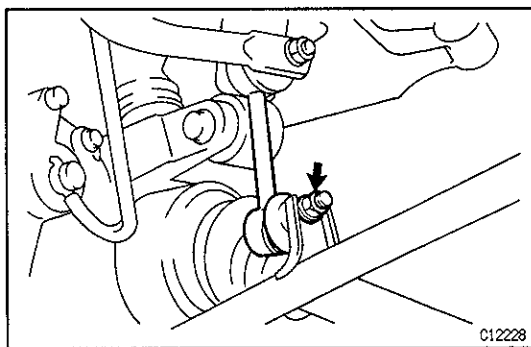
T=660kg・cm

5 エキゾーストパイプ取り付け

T=440kg・cm

6 オイル量点検, 調整

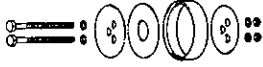

(「基本点検」-「ディファレンシャルオイル」参照)



ディファレンシャルマウント クッション

準備品

SST

	<p>09570-24010</p> <p>リムーバー & リプレーサー ディファレンシャルマウント クッション</p>	<p>マウントクッション脱着用</p>
	<p>09316-12010</p> <p>トランスファーベアリング リプレーサー</p>	<p>マウントクッション脱着用</p>

工具

<p>ボルト (M12×P1.25 首下長さ 186mm) 90101-12159</p>	<p>マウントクッション脱着用</p>
<p>ナット (M12×P1.25) 90179-12051</p>	<p>マウントクッション脱着用</p>

ディファレンシャルマウントクッション ディファレンシャルマウントクッション取りはずし

1 ディファレンシャルキャリア ASSY 取りはずし

(「ディファレンシャルキャリア ASSY」)

「ディファレンシャルキャリア ASSY 取りはずし」参照)

2 ディファレンシャルマウントクッション取りはずし

(1) SST を使用してマウントクッションを取りはずす。

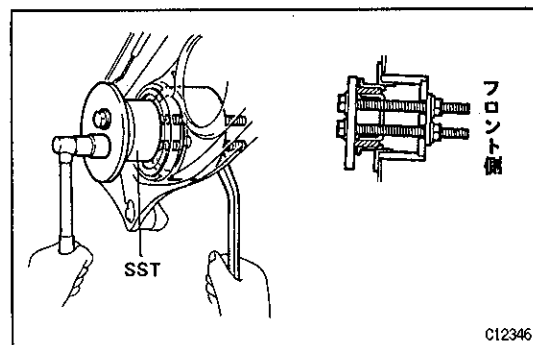
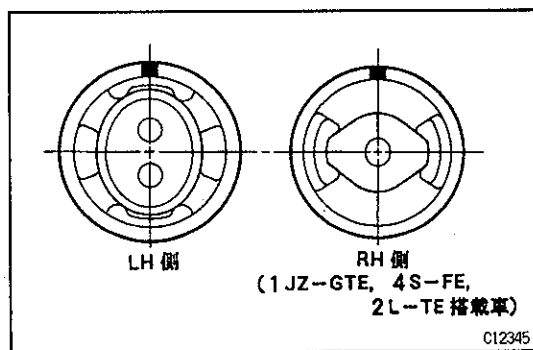
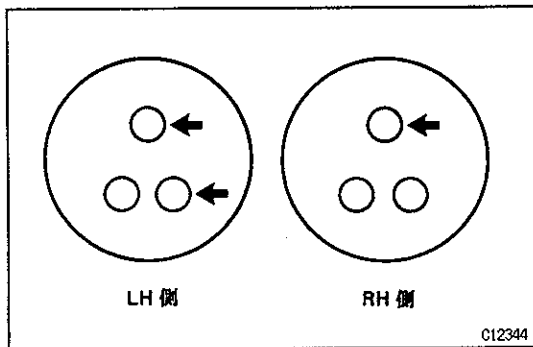
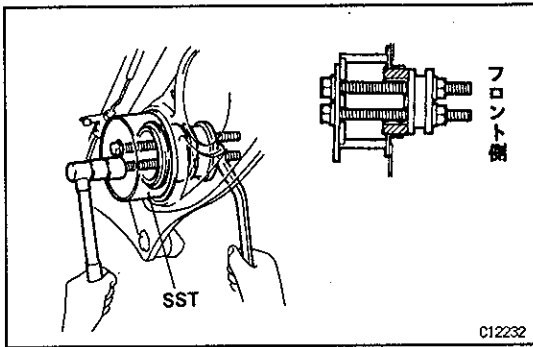
S S T 09570-24010 09316-12010

- 注意**
- マウントクッションを取りはずす際に、SST (09316-12010) がサブフレームに接触しないように注意する。
 - SST の組み合せ方を間違えない。
 - SST のボルトが斜めにならないように取り付ける。
 - LH 側 (2 つ穴) は SST のボルトを均等に締め込む。

(参考) ボルト……90101-12159

ナット……90179-12051

ディファレンシャルマウントクッション LH および RH の脱着は、SST の図の位置にボルトを通して行う。



(2) ディファレンシャルマウントクッションの上下、左右の識別は外側のマークにより行う。

ディファレンシャルマウントクッション取り付け

1 ディファレンシャルマウントクッション取り付け

(1) SST を使用して、マウントクッションを取り付ける。

S S T 09570-24010

- 注意**
- マウントクッション取り付け角度のズレは±5°以内とする。
 - マウントクッションが傾かないようにメンバーに仮付けしてから SST を取り付ける。
 - SST の組み合せ方を間違えない。
 - SST がマウントクッションの座面全周に接していることを確認する。

2 ディファレンシャルキャリア ASSY 取り付け

(「ディファレンシャルキャリア ASSY」)

「ディファレンシャルキャリア ASSY 取り付け」参照)

MEMO